第七十六回帝國議會 衆議院 留萌鐵道株式會社及新潟臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外二件 委員會議錄（速記）第四回

會議
昭和十六年二月三日（月曜日）午前十時十四分開議
出席委員左ノ如シ
委員長 星島 二郎君
理事 太田 理一君 理事 手代木隆吉君
理事 鹽川 正藏君 小笠原八十美君
北原阿智之助君 工藤 鐵男君
東條 貞君 春名 成章君
福田 悌夫君 松浦周太郎君
村上 元吉君 山崎 釼二君
出席國務大臣左ノ如シ
鐵道大臣 小川鄕太郎君
出席政府委員左ノ如シ
北海道廳長官 戸塚九一郎君
商工省鑛産局長 鈴木 英雄君
遞信省管船局長 尾關 將玄君
鐵道次官 鈴木 清秀君
鐵道省監督局長 大山 秀雄君
鐵道省運輸局長 長崎惣之助君
鐵道省建設局長 倉田 玄二君
鐵道省工務局長 阿曾沼 均君
鐵道省電氣局長 魚住 朝治君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
留萌鐵道株式會社及新潟臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案（政府提出）
大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）

○星島委員長 ソレデハ前會ニ引續キ開會致シマス、質疑ノ御殘リノ方ニ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス――手代木君

○手代木委員 此ノ間途中デ質疑ヲ中止致シマシタガ、尙ホ簡單ナ問題ヲ二ツバカリ御尋ネシタイト思ヒマス、其ノ一ツハ釧路ノ臨港鐵道ノ問題デスガ、私共カラ見ルト、留萌ノ臨港鐵道ト殆ド同ジ立場ニアルト思ハレル釧路臨港鐵道ニ付テ、ナゼ之ヲ留萌鐵道ト同ジヤウニ御考ヘニナツテ御提案ニナラナカツタノデアルカ、港灣ノ地位カラ申シマシテモ、又將來ノ發展性、或ハ又現在ノ時局ノ關係カラ申シマシテモ、ヤハリ釧路ノ臨港線ヲ買收サレタナラバ、地方ノ開發ト云フコトガ相當ニ企圖セラレテ居ルヤウデゴザイマス、是等ノ開發ヲ待チマシテ、所謂專用鐵道ノ色彩ガ段々脫却シテ參リマスレバ、或ハ專用鐵道ノ色彩ガアツテモ、是等ノ炭田ノ開發上、之ヲ買收スベキ意義ガ、一層ノ重要サヲ加ヘテ參リマス際ニ於キマシテハ、鐵道トシテモ考慮致サナケレバナラヌノデハナイカト考ヘテ居リマス

○手代木委員 御說明デ理由ハ大體分リマシタガ、確カニアノ方面ノ炭田ノ開發ガ促進セラレルコトデアルト思ヒマスシ、又之ヲ買收スルコトニ依ツテ、ヨリ一層左樣ナ機運ヲ增進出來ルコトト思ヒマスカラ、成ベク早クヤハリ留萌同樣買收サレルヤウニ當局ニ於テ御考慮ヲ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス

其ノ次ニハ私鐵ノ買收ノコトハ此ノ前ニ伺ツタノデアリマスガ、北海道ニ於テ買收サレテ然ルベシト思フ線ハ、私共素人カラ見テモアルヤウニ思フノデスガ、マア買收ハ後ニシマシテモ、借入經營ヲナスヤウナコトヲシクラドウカト思フノハ、北海道鐵道ノ今札幌・苫小牧間ニ運行シテ居ル路線ノ問題デアリマスガ、是ハ札幌ヲ中心ニシテ、又社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案（政府提出）
大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）

付託議案
留萌鐵道株式會社及新潟臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）（第四號）
田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）（第五號）
富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案（政府提出）（第六號）
大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（政府提出）（第一二號）

一方室蘭ガ非常ニ發展ヲ致シテ、其ノ間ノ交通關係ガ非常ニ頻繁ニナツテ來テ居ルバカリデナク、私ハアノ線ハ軍事上重要ナ使命ヲ持ツテ居ルト考ヘルノデアリマス、尚ホ一方日勝線トノ連絡上カラ申シマシテモアレハ此ノ前ニ慥カ床次サンノ鐵道大臣時代、之ニ苗穗、沼ノ端間ダケノ買收ノ議ガアツタヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、唯當時會社當局デハ、如何ニモ半分ダケ買上ゲサレルト云フヤウナコトデハ、殘ツタ部分ダケノ經營ガ困難ニナルトカ何トカ云フ理由デ、會社ノ方カラ餘リ進マナカツタラシイヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、其ノ當時ヨリハ一層買收等ノ條件ヲ備ヘテ來タト思フノデアリマスガ、買收ガ出來ナイナラバ借入等ノ方法ニ依ツテ、アレヲ省營ニ移シテ、サウシテ今ハ「ガソリン・カー」ナドモ運轉シテ居ルヤウデアリマスガ、又貨物ノ方ノ關係ニシマシテモ、アレヲ連絡シテ一本ニシテ經營サレルコトニナレバ、非常ニ利用サレル點ガ多クナルコトダラウト思フノデスガ、之ニ對シテ御當局ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○鈴木(清)政府委員　北海道鐵道ノ沼ノ端、苗穗間ニ於キマスル區間ト云フモノハ、所謂運輸連絡上非常ニ重要ナ線路デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、殊ニ此ノ區間ニ於キマシテ、苫小牧カラ苗穗マデ「ガソリン・カー」ノ直通運轉ヲ會社ニ慫慂致シテ、ソレヲ實行サセマシタ所以ノモノモ、此ノ線ガ所謂札幌、室蘭ヲ繋グ「シヨーカット」デアツテ、非常ニ重要ナ線路デアルト云フコトヲ證據付ケテ居リマスガ、併シナガラ此ノ運輸連絡上重要ナ線路ト云フモノガ、從來ノ買收ニ於キマスル鐵道ノ方針ノ一ニハ算ヘラレテ居リマスガ、此ノ度ハ所謂生產擴充ヤ輸送ノ強化上、是レ以上ニ緊切デ緊迫シマシタ四鐵道ヲ買收致シマシタモノデゴザイマシテ、此ノ鐵道ハ左樣ニ有意義ダトハ思ヒマスルガ、將來ノ問題トシテ殘シタノデアリマス、唯只今御尋ネノ如ク、若シ買收シナケレバ借上ヲシタラ宜イダラウト云フコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ二、三年白棚及ビ身延ヲ借上致シマシタ實績ニ依リマスト、借上其ノモノハ運賃ノ低下ニ依リマシテ、民衆ノ受クル所ノ便益ト云フモノハ相當大ナルモノガアルト云フコトハ、否ムベカラザル事實ダト考ヘマス、併シナガラソレニ伴ヒマシテ行ヒマスル作業、或ハ改良工事、或ハ其ノ改良工事ニ於キマスル費用ノ問題、財產ノ歸屬ノ問題、サウ云フヤウナ事務的ノ問題ニナリマスト、可ナリノ煩ハシサガ色色アルノデアリマス、運賃低下以上ニ、買收程ノ效果ヲ擧ゲルコトガ出來マセヌノデ、今ノ所借上ハ暫クスルノヲ止メテ見タイト考ヘテ居リマシテ、モウ少シ研究問題トシテ殘シテ置キタイ、斯ウ云フ譯デ此ノ度ハ借上ヲ致サナイコトニシタノデアリマス、唯今申シマシタ如ク、借上ハモウ少シ研究ヲ致シマシテ、將來ノ問題トシテ殘シテ置キタイ、斯ウ云フ意味デアルト云フコトヲ御存ジ置キ願ヒタイト思ヒマス

○手代木委員　只今ノ問題ニ付テハ相當當局ニ於テモ重要サヲ御認メノヤウデアリマスガ、私共考ヘマシテモ、何トカ一日モ早ク省營ニ移シテ貰ヒタイコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、長万部、札幌ヲ貫ク線トシテ考ヘマシテモ、室蘭、苫小牧廻リデ、此ノ苫小牧、苗穗間ヲ連絡シテ行ク場合ト、倶知安、小樽ヲ廻ル場合ト、距離ノ點ニ於テ時間ノ點ニ於テ、此ノ線ヲ利用スル方ガ遙カニ得策ノヤウニ思ハレルノデアリマス、前ノ時ニ申シタ所デアリマスガ、所謂北方ノ交通ヲ整備スル點カラ、特ニ東京札幌間、即チ北海道ノ中心デアル札幌ヲ貫ク線ヲ短縮スルト云フヤウナ點カラ考ヘマスト、ヤハリ此ノ線ヲ取入レテ、サウシテ此ノ前ニモ御意見ヲ伺ヒマシタ例ノ室蘭、大畑、大間邊リノ此ノ連絡交通ヲ整備シテ「スピードアップ」スレバ、東京札幌間ヲ二十時間以內デ走ルコトガ出來ルヤウニ考ヘラレマス、若シ本當ニ力ヲ入レラレルナラバ、恐ラク十六、七時間デ是ハ突破ガ出來ルコトダト思ヒマス、サウシマスレバ、樺太ヲ奧ニ控ヘテ居ル關係カラ申シマシテモ、非常ニ其ノ距離ガ短縮サレルコトニナルノデアリマスカラ、ソレ等ノ關聯ヲ以テマシテ、能ク一ツ當局ニ於テモ御調査ヲ進メラレテ、着々其ノ目的ニ向ツテ此ノ線ノ整備ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマシテ、此ノ意味ニ於テ苫小牧、苗穗間、此ノ線路ノ買收、其ノ內驛デ又邊富內、御影間ガ開通ニナレバ、此ノ線モ買收セラレルコトニナルデアリマセウカラ、其ノ前ニ先ヅ此ノ線ダケヲ、半分ダケデアリマスケレドモ、買上ゲラレルヤウナコトナリ、或ハ借上ゲラレルナリ、サウ云フコトヲ一步先ニ進メテヤツテ御貰ヒスル方ガ地方ノ利益デアルト思ヒマス、邊富內、御影間、慥カ昭和二十一年カマデ延ビタヤウデアリマスシ、又或ハソレ以上延ビルヤウナコトニナルカモ知レマセヌノデ、ソレノ完成スルマデ待ツト云フコトハ少シ程遠イヤウニ思ヒマスカラ、ドウゾ其ノ點ハ特ニ御考慮ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、私ノ質疑ハ是デ打切リマス

○星島委員長　山崎君今此處デヤリマスカ——山崎君

○山崎(釼)委員　二、三御伺ヒ致シマス、私鐵道ノコトニ暗イノデアリマスカラ、極ク常識的ナコトデスガ、御教ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、鐵道買收ニ重要ナ基礎トナル買收鐵道ノ建設費ノ計算ト云フモノハ、其ノ買收スル當時ノ時價ニ總テ之ヲ評價シテ見ルノデアリマスルカ、或ハ建設シタル當時ノ實際ノ建設費ト云フモノデ計算ヲ採ルノデアリマスルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○大山(秀)政府委員　地方鐵道法ニ於キマシテハ、實費決算主義ト云フ主義ヲ大體執ツテ居リマス、隨テ買收致シマス當時ノ評價デハアリマセヌノデ、從來買收スル時ノ取得ニ要シタ費用ト云フモノハ、其ノ建設費ニ乘ツテ來テ居ル譯デアリマス、詰リ建設ノ時ノ費用デアル、斯ウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

○山崎(釼)委員　其ノ點能ク分リマシタガ、サウシマスト建設費ノ非常ニ安イ時ニ建設サレタ私鐵ト云フモノハ、今日買收スル場合ニ於キマシテハ、其ノ經營ヲスル上ニ於キマシテ、相當政府ガ有利ト申シマスカ、サウ言フト語弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ、買收シ易イ狀態ニ置カレテ居ルノデハナイカ、斯樣ニ考ヘラレルノデアリマスルガ、見解ハ如何デアリマスカ

○大山(秀)政府委員　建設費ガ安ク以前ニ出來テ居リマスモノニ付キマシテ、一見御質問ノヤウナ考ヘモ起ルノデアリマスガ、併シ安イ時代ニ建設セラレテ居リマスルモノハ、其ノ後相當ノ年月ヲ經ツテ居リマシ

テ、其ノ鐵道ガ成熟シ、相當ノ收益ヲ擧ゲルコトニナツテ居リマス、鐵道ノ買收價額ノ計算ト申シマスモノハ、原則ト致シマシテハ建設費ガ重要點デハナクシテ、收益力ガ主眼ニナツテ居リマス、隨テ買收價額ニ於テ、建設費ノ小サイト云フコトガ又有利ニ働ク部分ガ多イノデアリマシテ、必ズシモ御質問ノヤウナ結果ニハナラヌト考ヘテ居リマス

○山崎(鈕)委員　能ク分リマシタ、買收ノ場合ハ分リマシタガ、借入經營ヲスル場合ニハ、ヤハリ其ノ原則ニ從ツテ借入レルノデアリマスカ、所謂借入鐵道ノ價値ト云フモノノ計算、其ノ建設費ノ計算ナドモ、ヤハリ只今ノ買收ノ場合ニ於ケルト同樣ナ基礎ノ上ニ立ツノデゴザイマスカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○大山(秀)政府委員　借入ノ料金計算ノ基礎ノ問題デアリマスガ、最近ニ於ケル、先ヅ富士身延鐵道ノ例ヲ採ツテ申シマスナラバ、大原則ト致シマシテハ、之ヲ買收シタラ幾ラニナルカ、其ノ公債ニ依ル利子ハ幾ラカト云フコトヲ大原則ニ致シテ居リマスノデ、買收價額、其ノ鐵道ノ價値ト云フモノガ基本ニナツテ現ハレテ來ル譯デアリマス

○山崎(鈕)委員　是ハ鐵道當局ニ御伺ヒ致シマス、最近ノ鐵道ノ全般的ナ對策ト云フモノハ一體何處ニ置イテ居ルノデアルカ、大臣ガ御見エニナラヌヤウデアリマスガ、次官カラ其ノ點御敎ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、凡ユル方面ニ企業合同、或ハ企業ノ整理、或ハ重點主義ト云フ風ニ、色々ノ新體制的計畫ガ進メラレテ居ルノデアリマスガ、鐵道ト致シマシテハドウ云フ點ニ中心ヲ置イテ居ラレルノデアルカ、從來屢〻改主建從デアルトカ、其ノ他色々ナ名前デ表現サレテ居リマスヤウニ、鐵道ハ改良ヲ主ニシテ建設ヲ從ニスル、建設ヲ先ニシテ改良ヲ後ニスルトカ云フ方針ガ屢〻示サレテ居ル、此ノ所謂新體制ニ即應スル鐵道ノ大方針ト云フモノハ、何處ニ置イテ居ラレルノカヲ伺ツテ見タイノデアリマス

○鈴木(清)政府委員　若シ大臣ニ御質問ヲ御要求デゴザイマスレバ、大臣ハ今貴族院ニ行ツテ居ラレマスカラ、アト十分カソコラデ參ラレルト思ヒマスガ、若シ大臣ノコチラニオイデニナラナイ前ニ答辯ヲ御要求ナラバ、私カラ御答ヘシテモ宜シウゴザイマス

○山崎(鈕)委員　ソレデハ次官ニ御伺ヒスルコトヲ、モウ少シ附加ヘサセテ戴キマス、最近ノ鐵道輸送ニ付テ色々ノ論議ガアルヤウデアリマスガ、是ハ貨車ノ不足其ノ他色色ノ理由ガオアリト思フノデアリマスガ、私ガ常識的ニ鐵道當局ニ御伺ヒヲ致シテ見タイト思ヒマスコトハ、東海道線ノ大幹線ヲ中心ト致シマシテ、列車ノ速度ヲモウ少シ早メルノ工夫ト云フモノハ出來ヌモノデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○鈴木(清)政府委員　列車ノ速度ヲ既成線ニ於テ早メマスル方法ハ、或ハ山陽線デアリマスレバ「ポイント」ヲ直シ、或ハ少シ大キイ改良ヲスレバ「カーブ」ヲ直シ、或ハ軌條ヲ良クスル、機關車ノ牽引力ヲ高メル、或ハ機關車ノ牽引力ガ現在ノ儘デアレバ車輛數ヲ減ラス、斯ウ云フコトニ依ツテ列車ノ「スピード」ヲ增シ得ラレルノデアリマス、併シナガラ成ベク改良ヲシナイデ「スピード」ヲ高メル方法ハ、要スルニ一列車ノ車輛數ヲ減ラス外ナイ、サウシマスルコトハ輸送力ヲ非常ニ減ズルノデアリマス、卽チ一列車ノ車輛數ガ少クナルコトハ、所謂輸送數量ヲ減ラスコトニナリマス、又「スピード」ヲ出シマスルト、結局ハ各列車ニ於ケル「スピード」ノ違ヒガ大キクナル、殊ニ貨物列車ト旅客列車トノ「スピード」ノ差ガヒドクナツテ來マスカラ、サウスルト線路ニ入リマス列車ノ數ト云フモノガ減ツテ參ルノデアリマス、故ニ今日ノ如ク輸送量ノ非常ニ增加ヲ致シテ居リマスル際ニハ、「スピード」ヲ上ゲデ所謂到達時間ヲ減ズルト云フ方針ヲ必ズシモ執ルベキ時デハナイト私ハ考ヘテ居リマス

○山崎(鈕)委員　速度ヲ早メテモ輸送力ガ減レバ是ハ御說明ノ通リデアリマスガ、サウ云フ解釋デ行キマスト、速度ヲ早メズニ尙ホ是レ以上ノ輸送力ヲ增加スルノ方策ト云フモノハナイノデアリマスカ

○鈴木(清)政府委員　只今申上ゲマシタ如ク「ポイント」ヲ直シ、或ハ「カーブ」ヲ直シタリ致シマスレバ、全般ノ「スピード」ハ上ツテ參リマス、併シナガラ輸送量ヲ殖ヤサセマスル爲ニ、昨年度ノ時間改正ニ於キマシテモ、急行列車以外ノ列車ノ速度ト云フモノハ、多クノモノハドツチカト申シマストハ概シテ「スピード・ダウン」ノ方ニ進ンデ居リマス

○山崎(鈕)委員　電化シテ輸送力ガ增加スルカドウカト云フコトニ付テ、素人デ分ラナイノデアリマスガ、從來ノ機關車輸送ヲ總テ電化スルコトニ依ツテ、速度竝ニ輸送量ガ增大スルト云フコトハ、專門的ニ見テ出來ナイノデアリマスカ

○鈴木(清)政府委員　電化致シマスレバ所謂輸送力ノ增强ニモナルシ、列車速度ノ向上ニモナリ得ルト云フコトハ多少アリ得ルノデアリマス、併シナガラ電化ト云フコトハ非常ニ金ノ掛ルコトデアリマシテ、サウ容易ニ電化ヲ擴張シ得ラレル譯デハナイノデアリマス、併シナガラ鐵道省ニ於キマシテモ、隧道ノ長イ所、或ハ交通量ノ頻繁ナ所ニ於キマシテハ、逐次電化ヲ實行シテ居リマス

○山崎(鈕)委員　電化ヲスレバ金ガ掛ルト云フ御說デアリマスガ、ソレハ確カニ金ガ掛ルコトハ事實デアリマス、金ガ掛ツテモ輸送量ヲ十分ニ增大スルコトガ出來、或ハ速度ヲ增スコトガ出來ルナラバ、此ノ際ハ大イニヤルベキ時デハナイカト吾々ハ考ヘテ居リマス、但シ物資ノ關係デアルトカ、或ハ電化スル時日ノ問題ガ、此ノ際ニ適當ニ實行サレナイト云フ見解ナラバ、是ハ又別ナ考ヘ方ニナリマス、是ハ重要ナ輸送ノ問題デアリマスカラ、私ハ他ノ物資ヲ詰メテモ、若シ物資サヘ集マレバヤラナケレバナラヌト云フ見解ナラバ、ドウシテモ吾々トシテハ其ノ電化ヲ强行スルヨリ外ハナイト考ヘルノデアリマス、之ニ付テハ重ネテ一ツ當局ノ御見解ヲ承リタイト存ジマス

○鈴木(清)政府委員　電化致シマスル資金ト資材トヲ以テ電化シテ、輸送力ヲ强メル方ガ宜イカ、或ハソレダケノ資材ト資金トヲ側線ノ增設、或ハ線路ノ增設、或ハ「ポイント」ノ改良ニ依ツテ、今ノ蒸氣列車ニ依ル輸送力ヲ高メルガ宜イカハ、其ノ具體的場合ニ依ツテ調査シ研究サルベキモノダト思ヒマス、電化スレバ輸送力ガ蒸氣列車ヨリモ殖エルモノダトハ、一概ニ結論出來ナイト私ハ考ヘテ居リマス

○山崎(釼)委員　サウ云フ點ニ付キマシテハ、專門家デアル當局ノ御見解ニ俟ツヨリ外仕方ガナイノデアリマスガ、吾々常識ト致シマシテハ、何トカモウ少シ貨車竝ニ客車ノ輸送ヲ增大シテ貰ハヌト困ルデハナイカト云フ、實際上ノ見解ガ非常ニ不安ニナツテ來テ居ルノデアリマス、之ニ對シテモウ少シ明快ナ、斯ウスレバ宜イカラ、之ヲ國策トシテ斷行スルノダト云フ方針ヲ强ク知リタイノデアリマス、其ノ點ニ付テハ此ノ程度ニ致シテ置キマスガ、勿論重要物資ノ輸送ニ付キマシテハ、優先的ニ貨車ヲ配給スルトカ、優先的ニ其ノ積込ヲナストカ云フヤウナ主義ニナツテ居ルノデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○鈴木(淸)政府委員　重要物資ニ付キマシテ、固ヨリ優先的ニ輸送スル方針ヲ大體ニ於テ執ツテ居リマス、故ニ石炭ノ輸送、或ハ米ノ需要期ニ於キマスル所ノ米及ビ木炭ノ輸送ニ對シマシテハ、優先的ニ配給シテ居リマス

○山崎(釼)委員　大臣ガ御見エニナツタヤウデアリマスカラ、一點大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、最近ノ生產力增大、竝ニ高度國防國家建設ノ建前ニ依リマシテ、殊ニ重要ナ役割ヲ演ズル輸送機關、特ニ鐵道ノ國策ト云フモノハ、吾々トシテハ非常ナ賴リニ考ヘラレルノデアリマス、從來鐵道ニ對シテハ建設ヲ主トスルトカ、改良ヲ主トスルトカ、其ノ他其ノ時々ノ時局ニ應ジタル對策ガナサレテ來タト思フノデアリマス、今日ノ高度國防國家建設ノ段階ニ於キマシテ、鐵道デハドウ云フ大方針ヲ以テ之ニ臨マレントスルノデアリマスカ、二、三私有鐵道ヲ買收サレテ、堅實ナル公債政策ノ上カラ、此ノ方針ヲ御進メニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレデハ物足ラザルモノヲ感ズルノデアリマス、殊ニ各企業ニ於キマシテモ、新體制ト稱スベキ企業合同デアルトカ、或ハ其ノ他ノ方針ヲ以テ之ニ對處セントセラレルヤウデアリマスガ、此ノ場合大臣カラ、此ノ時局ニ適應スル鐵道省ノ所謂大方針トモ言フベキモノヲ、御伺ヒ出來レバ幸ヒト存ジマス

○小川國務大臣　鐵道ハ輸送ヲ使命トシテ居リマスカラ、輸送力ノ增强ト云フコトハ當然デアリマス、尙ホ其ノ輸送力ノ增强ト云フコトニ付キマシテモ、時局ノ要請ニ應ジテ行クト云フ所ニ最モ重キヲ置イテ居リマス、ソレデ一般ノ輸送ヲ致シマスル外ニ軍事、卽チ國防上ノ要請ニ應ズルモノ、或ハ生產力擴充ノ要請ニ應ズルモノ、或ハ大東亞共榮圈ノ確立、尙ホモウ少シ具體的ニ言ヘバ、日滿支ノ產業上、交通上ノ連絡ヲ保ツテ行ク、斯ウ云フヤウナコトニ非常ニ留意シテ、資材其ノ他ノ方面ノ許ス限リニ於テ其ノ目的ヲ達成シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○山崎(釼)委員　大臣ノ御說明ハ大方針デナク、私ハ當面ノ對策ニ過ギナイト解釋サレルノデアリマス、殊ニ先程次官ノ御說明ヲ伺ヒマシテモ、速度ヲ早メルコトハ電化シテモ、或ハ多少ノ「ポイント」其ノ他ノ改良ヲシテモ、大シタモノデナイト云フ御說明デモアリマスシ、是デハ一體ドウシテ日本ノ鐵道ヲ整理統合シテ、强力ナ東亞ノ建設ニ資セントスル程ノ働キガ出來ルカト、素人ナガラ不安ニ思フノデアリマス、必要ナラ——貨車ガ足リナイナラバ、貨車ヲ重點主義ニ、私有鐵道ノ持ツテ居ル貨車デモ何デモ徵發シテ一ツノ幹線ニ使フナリ、或ハ客車ガ足リナイナラ、必要デナイ方面ニ使ハレテ居ル客車ノ如キハ、私有鐵道ノモノデアラウガ、省營ノモノデアラウガ、之ヲ一箇所ニ集中シテ、一時運轉中止ヲスル路線ガアツテモ仕方ガナイ、サウシテ其ノ輸送力增强ニ努メテ貰フ、乃至ハ必要ナ物資ノ配給ニ當ツテ居ル鐵道ノ如キハ、公債政策バカリヲ論ジテ居ラナイデ、之ヲドシ〳〵强制的ニ買收シテ、之ニ改良ヲ加ヘ、輸送力ヲ增强スル、或ハ其ノ線ガ港ニ向ツテ連接シテ居ナイナラバ、——一例ヲ自分ノ所在縣ニ取ルノハ私甚ダ心苦シイ感ジガスルノデアリマスガ、例ヘバ富士身延鐵道ノ如キハサウデアリマス、富士身延鐵道ノ如キハ借入ヲシテ經營サレルト云フヤウナ態度ヲ執ラレズニ、アノ時買收シテシマツテ、此ノ二年ニ改良工事ヲ施サレテ、之ヲ淸水港ト連接シ、漁港デアル沼津港ト連接シテ、秩父地方トノ連絡ヲ强硬ニ進メラレタラ、私ハモウ少シ輸送ガ進ンデ居ツタト思フノデアリマス、私ハ姑息ナル其ノ場當リノ對策シカ取ラレナカツタノデナイカト考ヘラレテ仕方ガナイノデアリマス、殊ニ此ノ頃鐵鋼使用ガ相當詰メラレテ來ルト云フ將來ノ趨勢モアルノデアリマスカラ、若シ必要トアラバ、吾々ハ私有鐵道ノ如キハ、殊ニ遊覽地ニ於ケル私有鐵道ノ如キハ、强制買收ヲシテ、是等ノ鐵資材其ノ他ノモノヲ重要ナル點ニ使用スル位ノ强イ交通對策ヲ持ツテ戴キタイ、斯樣ニ存ジテ居ルノデアリマス、勿論堅實ナル公債政策ノ上ニ立ツテノ交通政策ト云フコトハ、是ハ大臣ノ立場トシテハ當然デアリマセウガ、モウ少シ鐵道全體ノ經營ニ當ツテハ國有鐵道ニ限ラズ、私有鐵道モ日本ノ鐵道デアリマスカラ、之ヲ動員スルコトニ强力ナ整理統合ガ必要デアリ、重點主義ノ强行ガ必要デアルト思フノデアリマス、是ハ前ニ他ノ委員カラモ質問サレタト思ヒマスガ、人間ノ輸送モ亦サウデアリマス、必要デナサウナ旅行者ノ澤山ニ乘降スルコトハ、鐵道收入カラ見レバ確カニ必要ナ要素カモ知レマセヌケレドモ、必要ナ人間ノ動キト不必要ナ人間ノ動キトヲハツキリ見分ケヲ付ケテ、此ノ際戰時中デアリマスカラ、不必要ナ旅行ノ如キハ强制的ニ禁止スル位ノ對策ヲ以テ運ンデ貰ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ若シ貨車ガ不足ダト言フナラバ、三等客車ヲ改造シテ貨車ニ代用スルコトモ亦必要ナ對策デハナイカト思フノデアリマス、餘リニ平和ニ狎レタ輸送ノ態度ト少シモ變ラヌノデハナイカト思ハレルヤウナ鐵道ノ經營振リハ、甚ダドウモ不安ヲ感ジサセルノデアリマス、之ニ對スル鐵道當局ノ御方針ヲ重ネテ御伺ヒヲシタイト思ヒマス

○小川國務大臣　私途中デ參リマシタカラ、御質問ノ今マデノ趣旨ヲ能ク存ジマセヌノデ、或ハ御趣旨ニ適ハヌ答辯ヲシタカモ知レマセヌガ、前申上ゲタ積リハ、私ハ大體今日ノ時勢ノ緊急ニ應ジタ方針デ進ム、ソレニハ勿論今日ノ設備デハ十分行カヌ所ガアリマスノデ、又資材ノ與ヘラレタ範圍デヤツテ行カウト思フノデアリマスカラ、玆ニ重點主義ト云フコトガ當然起ルノデアリマシテ、今御質問ノヤウナ御趣旨デ鐵道當局ハ此ノ難局ヲ打開ショウト考ヘテ居ルノデアリマス、富士身延鐵道ノ如キモ、丁度御話ノヤウナ趣旨デ、今回之ヲ買收ショウト考ヘタ譯デアリマス、過去ノコトヲ御

答メニナリマシテ、何故早クシナカツタカト言ヘバ、ソレハ御議論ガゴザイマセウガ、今日此ノ案ヲ提出シテ居ルノハ御趣旨ニ副ウテ居ル譯デアリマスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマス、尚ホ今日マデノ重要ナラザル線、地方鐵道ノ如キハ止メサシテモ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ後ニ政府委員カラ御答ヘスルト思ヒマスガ、サウ云フ例モ現在アル譯デアリマス、唯色々治安ノ問題トカ、地方ノ交通關係トカ云フヤウナコトモ全然無視スル譯ニハ行カナイ、又御指摘ニナリマシタ交通政策ト云フヤウナモノモ、全然無視スル譯ニハ行カナイ、國家ハ色々ノ政策ト云フモノヲ皆綜合的ニ相調和シツツ此ノ時勢ノ要求ニ應ジタ政策ヲ立テ、又之ヲ實行シナケレバナラヌノデス、殊ニ交通政策ノ如キハ、過日モ申上ゲタノデスガ、鐵道ノ方面カラ言ヘバ幾ラデモ買收シ、幾ラデモ公債ヲ發行シテヤリタイノデアリマスケレドモ何分祕密會デモ御聽キニナリマシタヤウナ色々ナ事情ガアツテ、サウシテ巨額ナル公債ヲ發行シナケレバナラヌコトニナツテ居リマスノデ、其ノ公債ノ消化トカ、色々ナ問題ガ金融界、財界總テニ影響ヲ致シマスノデ、ソレヲ無頓着ニ鐵道ノミノ考ヘデ幾ラデモ公債ヲ發行シテ行クコトハムヅカシイ、其ノ點ハ能ク御諒承願ヒタイ、サウ云フ點ト睨ミ合セテヤツテ居ルノダト云フコトヲ前回ニモ申上ゲタノデアリマス、尚ホ具體的ナ問題ハ政府委員カラ御答ヘ致シマス

○鈴木(清)政府委員　一般ニ輸送量ガ非常ニ殖エテ、旅客及ビ荷主ガ非常ニ御迷惑シテ居ル、斯ウ云フ現象ハ鐵道省ノ從來執リ來ツタ所ノ政策、或ハ現在行ツテ居ル所ノ對策其ノ當ヲ得ナイガ爲メ、其ノ困澁ヲ感ジテ居ルコトガ多イト云フヤウナ御考ヘノ下ニ御質問ガアツタヤウニ見エマスノデ、以下輸送量ノ增加ノ工合ト其ノ對策ヲ御話シ申上ゲマス、昭和十一年事變勃發以來、旅客貨物等ノ輸送量ト云フモノハ非常ニ增大シタノデアリマシテ、昭和十四年ヲ見マシテモ、約六割ハ殖エテ居リマス、今日ノ推定ダト殆ド倍ニナツテ居ルト御考置キヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデアリマスノニ車輛其ノ他ノ增加ト云フモノハ、殊ニ機關車ノ增加ト云フモノハ一割一寸シカ殖エテ居ナイ、概シテ設備ハ二割乃至二割弱デアリマス、サウ云フ設備ヲ以チマシテ是ダケ殖エテ行ツタ輸送量ニ對應スルノデアリマスカラ、旅客及ビ荷主ニ對シテ相當御迷惑ヲ掛ケルノハ已ムヲ得ナイノデアリマス、然ラバ其ノ設備ノ擴張ヲシナカツタノガ惡イト云フ御話モアルカモ知レマセヌ、鐵道ハ此ノ事變以來昭和十三年カラ四箇年計畫ト云フモノヲ立テマシテ、而モソレハ大體七分增ノ割合デ以テ輸送量ガ增加スルモノト考ヘマシテ、十三億七千万圓ノ金ヲ投ジテ、其ノ輸送量ノ增加ヲ圖ラウト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、併シナガラ此ノ十三億七千万圓ト云フモノハ、會計及ビ資材ノ關係ヨリシテ中々出來得ルモノデナイト考ヘタノデ、之ヲ九億ニ壓縮シテ一應四箇年計畫ヲ立テタノデアリマス、併シナガラ十三年度ハ大體此ノ計畫ヲ實行シ得ラレタノデアリマスガ、十三年、十四年以後ハ更ニ是ヨリ二割乃至三割ヲ壓縮シナケレバ、資材其ノ他ノ關係カラ出來ナクナツタ、サウ云フ風ニシテ輸送量ノ增加、而モ所謂現實ノ增加ヨリ低ク見積ツタ增加ニ對應スルダケノ設備ノ對策ヲ計畫シ、之ヲ實行セントシタノデアリマスルガ、實際ノ資材ノ入手難ニ依ツテ困難ニナツタ、而モ御存ジノ如ク官需ニ於キマス所ノ資材ノ大半ト云フモノハ、鐵道省ニ於テ使フ資材ナノデアリマス、故ニ是レ以上ノ資材ヲ取ルト云フコトハ、他ノ一般ノ仕事、所謂鐵道以外ノ仕事ニ可ナリ響キヲ生ジマスノデ、サウ無理ヤリニ鐵道ノミ資材ヲ取得スルコトハ出來ナイノデアリマス、併シナガラサウ云フ資材ノ困難ニモ拘ハラズ、鐵道省ノ車輛ノ增備ハ事變前ノ車輛改良費トハ違ツテ、元ハ三千万圓カ四千万圓ノ車輛改良費ヲ使ツテ居ツタノヲ、昨年ノ如キハ一億二千万圓ヲ使ツテ居ル、本年ハ資材ノ關係上此ノ車輛ノ改良費ガ減ツテ居リマスガ、兎モ角車輛ノ增備ヲヤツテ居ル、又線路、操車場ノ改良新設ト云フモノニモ、可ナリノ費用ヲ出シテ居リマスコトハ、此ノ豫算書ヲ御覽下サレバ能ク分ルコトデアリマス、尚又將來ノ大キナ對策トシテハ、御存ジノ如ク東海道ニ於キマス幹線ヲ、五億五千万圓ヲ掛ケテ十五年間ニ完成シヨウトシテ居ル、サウ云フ風ニ色々ノ對策ヲ行ツテ居ルノデアリマス、又現實ノ問題ト致シマスレバ、昨年モ本年モ可ナリノ列車「キロ」ノ增加ヲ圖ツテ居リマス、少イ車輛ヲ以テ最大ノ智慧ヲ絞ツテ、車輛ノ運用ヲ高メルヤウニシテ列車「キロ」ノ增加ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニシテ一方ニ於テハ輸送力ノ增ヲ圖ル、殊ニ片一方ニ於テハ輸送ノ癌ノ生ズルコトヲ防ギマスル爲ニ、或ハ團體ノ旅行ヲ制限シタリ、或ハ取止メサセマシタリ、或ハ短區間ノ客ガ急行列車ニ乘ルコトヲ止メタリ、或ハ貨物關係ニ於テハ重要物資ノ輸送ヲ、計畫的ニ輸送スルヤウナ方法ヲ講ジタリ、或ハ貨車ノ運用ニ付キマシテ格段ノ注意ヲ拂ツテ居リマス、隨テ貨車ノ使用效率ト云フモノハ事變前ヨリ非常ニ上ツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウニ萬全ノ策ヲ施シテ居ルノデアリマス、御話中ニ不急不用ノ用事ヲ持ツ乘客ヲ制限セヨト云フ御話ガアリマシタガ、一般的ニ不急不用ノ用事ヲ持ツテ居ル乘客ヲ制限スルト云フコトハ、實際問題トシテ中々困難ノコトデアリマス、併シナガラ只今申シマシタ如ク團體旅客ヲ制限致シマシタリ等致シマシテ、成ベク制限シ得ラレル客ニ對シテハ、一時非常ニ不便ダト思ツテモ之ニ制限ヲ加ヘテ居ルノデアリマスガ、尚ホ此ノ旅客ノ制限モ、或ハ事變ノ發展工合ニ依ツテハ一層致サナケレバナラヌカト思ヒマスルシ、又サウ云フコトヲシヨウト思ヘバ總動員法ニ依ツテヤレナイコトモナイノデアリマス、又地方鐵道ノ車輛ヲ使ツタラ宜イダラウト言ハレマスガ、此ノ地方鐵道ノ車輛ヲ使フト云フコトハ統制令ノ下ニ於テモ出來ルノデアリマスガ、地方鐵道ノ車輛ト云フモノハ極ク少イモノデアリマス、鐵道省ノ車輛ト比ベレバ殆ド問題ニナラナイ、併シナガラ其ノ少イ地方鐵道ノ車輛ヲモ鐵道省ノ計畫ニ使フコトハ、殊ニ貨車ニ於テ考ヘテ居ルノデアリマス、又地方鐵道ニ於テ廢止セラレタルモノアリヤト言ヒマスガ、事變前カラ見マスレバ四百「キロ」以上ノ鐵道ト云フモノヲ、地方ノ事情及ビ會社ノ事情及ビ其ノ鐵道ノ使命ト云フモノヲ考ヘテ廢メサセテ居リマス、併シナガラ其ノ地方鐵道ノ廢メタ「レール」及ビ車輛ト云フモノハ、國有鐵道ニ

直グ使ヒ得ラレルヤウナモノハ殆ドナイノデアリマス、殊ニ廢メサセラレルヤウナ鐵道ニ於テ然リデアリマス、サウ云フ風ナ狀態ニ於テ、固ヨリ萬全ノ策ハ施シテ居リマスガ、何シロ急激ニ增加シテ來タ輸送量ニ對シテ、而モ資材ノ少イ今日ニ於キマシテハ、ソレニ對應スルダケノ設備ヲ急速ニ整ヘルト云フコトハ、實際上ノ問題トシテ困難デアルト云フコトハ御存知願ヒタイト思ヒマス、併シナガラ其ノ困難ノ中ニ於テモ鐵道省ハ從事員總テ一致協力シテ、事變前ヨリハ可ナリノ負擔分量ヲ殖ヤサセテ、之ニ對應シテ其ノ輸送ノ完璧ヲ期シテ居ル次第デアリマス、今ノ所多少ノ御迷惑ヲ掛ケテ居ルトハ存ジマスルガ、生産擴充上支障ヲ來スヤウナ輸送ヤ、或ハ國民生活必需品タル米、木炭其ノ他ニ付テ輸送上御困ラセシテ居ルヤウナコトハナイト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○山崎(鈗)委員　只今御親切ナ御說明ヲ承ツタノデアリマスガ、多分ニ私ノ言辭ガ激越デアリマシタ爲ニ、鐵道當局ヲ糺彈スルガ如ク御考ヘニナツタトスレバ、私ノ言葉ガ甚ダ强過ギタノデアリマスガ、私ハ輸送量ニ對スル心配ノ餘リ申上ゲタノデアリマス、寧ロ事變以來鐵道竝ニ遞信當局兩省ガ非常ナ努力ヲ拂ツテ、御盡力ニナツテ居ルコトニ對シテ、私ハ敬意ト感謝ヲ持ツテ居ルモノデアリマスカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、唯此ノ際何トカシテモウ少シ必要物資ト必要デナイ物トノ選リ分ケヲ强メテ、之ヲ强化スル必要ガアル、同時ニモウ少シ——出來ナイコトカモ知レマセヌガ、併シ短區間ノ運轉ニ依ツテ、朝トカタ方トカ、込ミ合フ列車ノ乘客ノ緩和ガ出來得ル處置ガモウ少シ出來ヤセヌカト思フコトト、モウ一ツハ薪炭自動車ノ如キハ、鐵道省デモウ少シ相當ニ持タレテ、短區間ノ貨車輸送ノ如キハ、之ニ依ラレル對策ガ立タヌモノデアルカドウカ、是ハ多分ニ疑念ガアルト思フノデアリマス、一般ノ鐵道貨物ガ非常ニ輻湊シテ參リマシタコトハ、曾テ「ガソリン」ノ安カツタ時代ニ於テハ、多數ノ「トラック」運送ト云フモノガ非常ニ踵ヲ接シテ、貨物ノ輸送ヲドン〳〵シテ居ツタガ、其ノ運賃ガ高クナツタ爲ニ、是ガ鐵道ニ殺到シテ來タ、斯ウ云フコトガ一ツノ原因デアルト思ヒマス、隨テ若シ此ノ鐵道ノ貨車ガ一杯ダトスレバ、他ノ方法デ、鐵道ガ直接之ヲ經營スルナリ何カスル方法デ、鐵道以外ノ「トラック」運送ノ如キモノヲ鐵道省ガ直接オヤリニナルカ、或ハ鐵道省ガ方策ヲ授ケテ、特殊會社ヲシテ之ニ當ラシメルトカ、サウ云フ副次的ナル輸送機關ノ活動ト云フモノモ一應考ヘラレルカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル對策ハドウナツテ居リマスカ

○長崎政府委員　山崎サンノ御意見洵ニ御尤ナ御意見デゴザイマス、私共ト致シマシテモ無論薪炭自動車、殊ニ「トラック」デゴザイマスガ、ソレヲ澤山設備致シマシテ、輸送緩和ノ一ニ致シタイト云フコトハ無論考ヘテ居リマスガ、只今次官カラモ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ輸送量ノ增加ト設備ノ關係ト云フモノハ、ソンナ生優シイモノデハナイノデアリマス、モツト〳〵大キナモノデアリマシテ、之ヲ十一年或ハ十二年ノ當時ノ貨物ト、貨車トノ關係ト云フ所マデ持ツテ行ク爲ニハ、トテモソンナコトデハ追付カナイノデアリマス、殊ニ此ノ「トラック」ハ御承知ノヤウニ、サウ澤山積メルモノデハアリマセヌノデ、ヤハリ鐵道ソレ自體ヲ增强シテ行ク方ガ、私ハ急務中ノ急務ダト思フノデアリマス、御話ノヤウニ、無論現在貨物ガ非常ニ輻湊シテ居ル其ノ原因ノ一ツニハ、自動車ノ不足、ソレニ依ツテ從來自動車デ運搬サレテ居ツタモノガ鐵道ヘ入ツテ來タト云フコトモゴザイマスガ、ソレニ優ルトモ劣ラナイモノハ海運カラ來タ貨物ガ相當アルノデアリマス、其ノ證據ニハ事變前ニ貨物ノ輸送ヲサレマシタ距離、其ノ距離ガ事變後ニハ非常ニ長クナツテ居リマス、若シ是ガ御話ノヤウニ自動車カラノミ來タモノデアリマスレバ、寧ロ短クナラナケレバナラヌ、ソレガ長クナツテ居リマス、其ノコトカラ申シマシテモ、自動車ソレ自體デ救ハレルモノハ無論ナイトハ申シマセヌ、ソレハ吾々モサウ考ヘテ居ルノデアリマス、ヤル積リデ研究致シテ居リマスガ、ソレヨリハ寧ロ長距離ノ海運カラ來タモノガアルノデアリマス、或ハ生產擴充ノ計畫ニ依リマシテ、從來餘リサウ云フモノガ出テ居ラナカツタ地方カラ澤山ノ荷物ガ出テ來タ、之ヲ例ヘテ申シマスレバ、或ル種ノ鑛物、サウ云フヤウナモノハ品位ノ關係カラ從來掘出サレテ居ラナカツタ、ソレガ此ノ頃山カラドン〳〵掘出サレテ居ル、先程線路ノ不用ナ所ヲ離シテ使ツタラドウカト云フ御話モゴザイマシタケレドモ、是亦サウ云フ關係デ、私共ガ從來サウ云フ荷物ガ出ヤシナイト思ツテ居ツタ所ニ、品位ガ多少劣ツテモ掘出シテ差支ヘナイ、ソレデモヤラナケレバナラヌト云フコトニナツテ、サウ云フ「ウイーク」ナ弱イ線路ガ却ツテ輸送量ガ殖ヘテ來タト云フヤウナ關係モアリマシテ、ソレヤ是ヤヲ色々考ヘテ見マシテ、一寸何處カ要ラナイ線路ガアリサウナモノダガト云フコトヲ考ヘテモ、能ク〳〵當ツテ見ルトサウ云フヤウナコトガ起キテ居ル、是ハ中々ウマクイカヌ、サウ云フコトデアリマシテ手ガ着ケラレナイ、又重點輸送主義ノ御話ガアリマシタガ、如何ナル貨物ガ何時何處デ、ドウ輸送サレルカト云フ問題ハ非常ニ難シイ問題デアリマス、例ヘテ申シマスト、先年御承知ノ通リ米ノ輸送ガ非常ニ必要ニナツテ來タ、其ノ時ニ今ハ米ヲ送ルベキ時期ダ、蜜柑ヤ林檎ヲ此ノ頃送ルノハ怪シカラヌ、蜜柑ヤ林檎ヲ送ラズニ米ヲドン〳〵送レト云フ御話ガアリマシタ、併シ私考ヘマスルノニ、丁度暮デゴザイマスカラ、靜岡、紀州アタリカラ蜜柑ガ澤山出マス、其ノ蜜柑ヲ送ラズニ米ダケヲ送ツタナラバ、紀州ノ農業家、靜岡ノ農業家ハ蜜柑即米デアリマスカラ、蜜柑ト米ト云フコトダケデモ、何ヲ優先セシムベキカト云フコトハ判斷ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス、御話ノヤウニ無論私共モ優先輸送、貨物ノ順位ト云フコトモ考ヘテヤリマスケレドモ、サウ云フヤウナ關係デ、中々何時何處デドンナ品物ヲ優先セシムベキカト云フ判斷ヲ刻々ニ變ヘテ行カナケレバナラナイ、所ガ御承知ノヤウニ、大體二万「キロ」ニモ餘ル線路ヲ持チ、日本全國ニ店ヲ出シテ居リマス其ノ店ニ、何處デ何ヲ優先サセルカト云フコトヲ刻々變ヘルコトハ中々難カシイノデアリマス、ソコデマア大キナモノ——石炭デアリマストカ、サウ云フモノニ付テハ、是ハ優先ト云フコトモ無論考ヘラレマスガ、ソレヨリモ石炭ノヤウナモノハ、平均的ニ年間ドノ位出セルカト

云フコトヲ商工省其ノ他生産者等ト話合ヲシマシテ、ソレヲ順次ニ淀ミナク流シテ行クト云フコトヲ考ヘルコトガ、一番宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘマシテ、只今ノ所ハサウ云フ方法ヲ執ツテ居リマス、生活必需品ニ付キマシテハ、農林省トノ間ニ緊密ナ連絡ヲ取リマシテ、各府縣カラドレダケノ米ヲドノ方面ニドウ云フ風ニ流スカ、ソレヲ考ヘマシテ、木炭ニ付テモ同樣デアリマス、サウシテ計畫的ニサウ云フモノヲ拾ツテヤリマス、併シ細カイモノニナリマスト、又中々難カシイ問題ガ澤山アリマスガ、是等モ順次配給統制ノ機關ガ整備シテ參リマシタカラ、ソレ等ト能ク協議ヲシテ完璧トハ申シ兼ネルカモ知レマセヌガ、是カラ十分ナル努力ヲ拂ツテ、輸送ヲ行ツテ行キタイト思ヒマス、唯從來ハ遺憾ナコトニハ、配給統制ノ機關モサウ完備シテ居ラズ、ソコニ幾多ノ混亂ガゴザイマシタ、其ノ爲ニ輸送ガ稍〻澁滯シタヤウナ傾キモアツタカト思フノデアリマスケレドモ、今後ニ於テハサウ云フ機關モ次第ニ整備シテ參リマシタシ、私共モ仕事ニ十分慣レテ參リマシタカラ、是等ト緊密ナ連絡ヲ取ツテ萬遺漏ノナイ方法デ皆サンノ御需要ニ應ジタイト思ヒマス

尚ホ次官ノ御說明ヲ補足ト申上ゲマスト甚ダ何デゴザイマスガ、附加ヘテ申上ゲマスト、旅客ノコトデアリマスガ、オ客サンニ急ガヌ旅、急グ旅ト云フ區別ヲシロト仰シヤイマスケレドモ、是ハ中々ムヅカシイノデアリマシテ、殆ド不可能デアリマス、ソレカラ近間ノ通勤通學ノ人ナドノ輸送ニ付テ、列車ノ增發ヲシテ緩和ガ出來ルデハナイカト云フヤウナ御意見モアツタヤウデアリマスガ、之ニ付テハヤハリ客車ノ容量ノ問題、殊ニ通學通勤ノ時間ト云フモノハ長距離ノ列車ニ乘ツテ來ラレル人モ、丁度其ノ頃ガヤハリ何處カノ大都市ニ來テ仕事ヲナサル時刻デアリマス、ソレデスカラ、其ノ時刻ガ一番能ク使ハレマス、ソコデ新シク列車ヲ入レルコトハ中々ムヅカシイ、ソレデ考ヘラレルノハ勤務時間ヲ多少ズラシテ——登校時間ナドヲズラシテモツト平ラナ輸送ヲシタラドウカト云フコトデアリマス、大體今ノ大都市ノ通學通勤ノ模樣ヲ見マスト、朝ハ勞働者ガ五時、六時頃カラズツト始マリマシテ七時頃マデ、學校ノ方ハ七時前後カラ始マツテ八時半頃マデ、勤人ハ八時半頃カラ九時過ギマデ、ソレカラ普通ノ人ガ乘ツテ來ラレ、十時頃ニハ大分スキマス、結局五時頃カラ始マツテ九時過ギマデ四時間バカリノ間ニ非常ニ多數ノ人ガ乘ツテ來マス、ソコデ之ヲズラサウト申シマスケレドモ、只今申シマシタヤウニ勞務員ト學生ト事務員ト云フモノハ大體竝ンデ居ル、之ヲ叩イテ見タ所デ大シテ叩ケルモノデナイ、ノミナラズ、勤務時間ヲ各工場ナリ銀行ナリガ變ヘルト云フ問題ニ付キマシテモ、中々困難ナ問題ガアリマス、ドウシテ變ヘルカ、職業別ニスルノカ或ハ地域別ニスルノカ、中々ムヅカシイモノデアリマシテ、私共トシテハソレヲ欲スルノデアリマスガ、社會ノ一般活動ノ模樣ガソレニ依ツテ色々抑制サレマスカラ、ソコニ困難ナ問題ガ起リマス、サウ云フコトデ鐵道ダケガ幾ラ欲シテモ、社會ノ經濟活動、生活活動ガソレニ順應シテ吳レナイ限リ無理ナコトハ出來マセヌ、サウ云フ譯デ通勤ニ付テモ中々ムヅカシイ、又遠距離ノオ客サンニ付テモ、遊覽客ガ隨分アルデヤナイカト御想像ニナラレマセウケレドモ、是ハ正確ニ一々尋ネテ聞イテ見タ所デ分ルモノデハアリマセヌガ、推測シタ所ニ依リマスト、マア精々アツテモ一割程度ノモノデハナイカ、其ノ他ノ九〇％ト云フモノハ——定期ヲ除イタオ客デアリマシテモ、九〇％ノオ客ハヤハリ何カ立派ニ用事ガアツテ旅行ヲシテ居ル人デアルト推定セラレルノデアリマス、左樣ナ譯デアリマシテ、オ客サンニ對シテ荷物扱ヲスルト云フ非難ガアリマス、隨分混雜ヲシテ居ルノニ席ガナイ、寢臺ガナイト云フ非難ガアリマスガ、要スルニ是ハ設備ノ問題ニ歸スルヤウデアリマス、設備ノ問題ニ歸スルカラト云ツテ、私共ハ決シテ其ノ儘放ツテ置ク積リハアリマセヌ、先程次官カラモ申上ゲマシタヤウニ、列車ノ增發ヲ工夫シテヤルトカ、或ハ積載效率ノ增加ヲ圖ルトカ、積卸シノ關係ヲ迅速ニスルトカ、是ニハ小運送業者ノ協力ガ必要デアリマスガ、ソレニ付テハ色々ナ方法ヲ講ジテ、何トカシテ此ノ難局ヲ突破シタイト思フノデアリマス、併シソレニ付テハ吾々ダケノ努力デハイケマセヌ、ヤハリ一般社會ノ經濟活動、生活活動ガ吾々ニ同情ヲ持ツテ吳レマシテ、幾ラカデモ順應シテヤラウト云フ氣持ニナツテ戴カナケレバナラヌノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ國民各位ノ御協力ヲ私共始終御願ヒ致シテ居ル次第デアリマス

○山崎（釼）委員　色々ノ御說明ヲ承リマシテ、聽ケバ聽ク程安心ガ出來ヌヤウナ行詰ツタ感ジヲ與ヘラレルノデアリマス、ソレデ何トカシテモウ少シ東海道線ノ高速度化ト云フコトダケデナク、斯樣ナ場合ニ徹底シタ對策ヲ、鐵道省ダケデナク國策トシテ各省ト連絡ヲ取ツテ國策ヲ立テル必要ガアルノデハナイカ、斯樣ニ感ズルノデアリマス、是ハ大臣ニ御願ヒスルノデアリマスガ、鐵道省デハオ客ノ減ルコトヲ御喜ビニナラヌノデハナイカト思ハレル節モアル、私ハ是ハヤハリ各省ト連絡ヲ取ツテ、國策ヲ立テテ協力スルヤウニ、大政翼贊會アタリノ協力ヲ得テ、不急ノ旅行ハ取止メヨウト云フ運動デモスレバ、結局旅行ハ止メヨウト云フ考ヘニモナリマセウ、同時ニ東海道線ノ高速度化ノ計畫、例ノ東京下關間七時間ノ彈丸列車ト云フモノダケニ賴ラズニ、モウ少シ幹線ダケデモ十分ナ對策ガ立チサウナモノデハナイカト思ヒマス、繰返シテ申上ゲルノデアリマスガ、段々伺ツテ居ル中ニ、鐵道當局者ガ何トシテモ仕方ガナイ、アノ道ヲ行ツテモ、此ノ道ヲ行ツテモ仕方ガナイト云フ御答ヘヨリ外ニ出テ來ナイ、何トカ仕方ノアルヤウニ、十分ニ國策トシテノ大方針ヲモツト强ク御決メヲ願ヒタイ、殊ニ私有鐵道ノ買收ヲ致シテ公債政策ニ破綻ヲ來サシメテハ洵ニ申譯ナイノデアリマスガ、高ガ私有鐵道ノ買收ヲ强行致シマシテ、其ノ株主ニ公債ノ交付ヲ致シタ所ガ、ソレデ以テ日本ノ公債政策ガヒドク破綻ヲ來ストモ考ヘラレナイノデアリマス、株ガ公債ニ變ルト云フ程度ニシカ考ヘラレナイ、殊ニソレカラ相當ノ收入ガ上ルノデアリマスカラ、國家トシテモ無駄ナ所デ消費シテシマフ譯デハナイノデアリマスカラ、出來得ル限リ必要ナル私有鐵道ノ如キハ國營化シテ、之ヲ改良强化スル必要ガアリハセヌカ、殊ニ先程ノ御說明ニ依レバ、コンナ所カラコンナ荷物ガ出テ來ルカト思フヤウナ弱イ線ガ非常ニ使ハレ出シタト云フコトデ、サウ

云フ點カラ言ツテモ今マデノ私有鐵道ニ對スル考ヘ方、認識ヲ新タニスルコトガアルノデハナイカト思フノデアリマス、隨ヒマシテソレ等ニ對スルモツト進ンダ國策ヲ御持チデアルナラバ、大臣カラ御說明願ヒタイ、又研究中ナラ研究中デ仕方ガナイカラ、其ノ點ヲ一ツ大臣カラ、モウ一遍伺ヒタイト思ヒマス

○小川國務大臣　此ノ內閣ガ出來マシテ、大體國策要綱ト云フモノヲ拵ヘテ發表致シマシタガ、其ノ中ニモ交通政策ト云フモノガアリマシテ、其ノ交通政策ハ鐵道ダケデハナイ、遞信省其ノ他關係ノ省ト一緒ニナッテ、ソコニ一ツノ具體的ノ政策ヲ拵ヘルベクヤッテ居ル譯デアリマス、御話ノ通リニ交通政策ト云フモノハ他ノ產業政策、文化政策其ノ他ノ政策ト離ルベカラザルモノデアリマシテ、鐵道省ダケデヤレルモノデハナイ、勿論政府トシテ或ハ國家トシテサウ云フ政策ヲ立テナケレバナラヌ、殊ニ時勢ハ容易ナラナイ所ニ持ッテ行カレテ居リマシテ、經濟關係カラ言ヒマスト、英米依存ヲ離脫シマシテ東亞共榮圈ヲ確立シテ行カウト云フ大キナ問題ガ出テ居リマスノデ、交通政策ハソレト一ツニナッテ行カナケレバナラヌモノデハナイカ、生產力擴充ト云フヤウナコトモ以前ノ意味ト違ヒマシテ、英米依存カラ離脫シテ、此ノ東亞ノ共榮圈ノ中デ自給自足デヤッテ行カウト云フノデアリマスカラ、生產力擴充ト云フ意味ガ以前ト違ッタモノニナッテ居ルト思フノデアリマシテ、生產力擴充ト云フヤウナモノニ交通政策ハピッタリ合ッタモノデナケレバナラナイ、サウ云フ角度カラ此ノ政策ヲ具體化シヨウト努メテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ事ハ一ツ御諒承願ヒタイノデアリマス、尙ホ輸送力強化ニ付キマシテハ、具體的ノ問題ガ今質問應答サレタヤウデアリマスガ、是ハ豫算ヲ御覽戴キマスレバ、例ヘバ東海道線、山陽線ニ致シマシタ所デ、何モ新幹線ヲ拵ヘヨウトスルダケデハアリマセヌデ、其ノ他改良工事ノ中ニモ色々線路ヲ增シテ行クトカ、或ハ停車場ヲ拵ヘル、停車場ヲ拵ヘルト云フノハ驛ヲ拵ヘルダケデハナイノデアリマシテ、操車場トカ、其ノ他停車場ノ中ニ線路ヲウント多ク增シテ行ク、サウ云フヤウナモノガ此ノ豫算ノ中ニモ相當編込マレテ居ルノデアリマシテ、ソレハ私ガ此處デ一々說明スルマデモナイコトダト思フノデアリマス、車輛ノ問題ナドハ今取上ゲラレテ話ガアリマシタガ、ソレハ一ツノ方面デアリマシテ、其ノ他色々ナ方面ニ向ッテ此ノ時勢ノ要求ニ應ジテ出來ルダケノコトヲヤル、斯ウ云フ考ヘデアリマス、行詰ッテ居ルヂヤナイカ、仕方ガナイヂヤナイカ、斯ウ云フコトシカ鐵道省ハ說明ガナイト仰シヤイマスケレドモ、ソレハチツトドウモ……說明ガ惡カッタカ、私等ノ方ノ考ヘ方ガ徹底セヌ所ガアッタト思ヒマスガ、サウ云フモノヂヤナイ、唯以前トハ時勢ガ違ヒマシテ、色々ナ方面カラ鐵道ニブツカカッテ參リマシテ、今次官モ申シマシタ通リ事變前カラ見テ輸送量ガ二倍ニナッタ、是ハ實ニ驚クベキ出來事ナノデアリマシテ、ソレヲ捌カシテ行クニ、如何ニ鐵ナラ鐵ヲ貰ハウトシタ所デ思フニ任セナイ、線路ヲ增シタイ、車輛ヲウント造リタイト云ッテモソレモ出來ナイ、其ノ事ハ生產力擴充計畫ヲ祕密會議デ御聽キニナッタナラバ、ココ二三年ノ間、其ノ倍ニナッタモノニ對シテ倍ノ設備ガ出來ルカ、出來ヌカト云フコトハ御想像ガ付クト思ヒマス、車輛ニ付テモ一割カ二割位ガヤットコサデアル、

其ノ輸送ノ徑路ニ依ツテハ遞信省デアリマストカ、内務省デアルトカ云フヤウナ關係方面ト唯打合ハスルト云フヤウナコトデナク、何カ組織的ナ機關ヲ作リマシテ、是ダケノ利用計畫ガ出來ルナラバ是ダケノ鐵道ヲ敷カウ、又ソレダケノ鐵道ガ出來ルナラバ、此ノ沿線ノ鑛物資源開發ニハ、國ハ强力ヲ用ヒテデモヤルト云フヤウナ、シツカリシタ計畫ヲ立テテオヤリニナルコトガ出來ルトシマスナラバ、物資ノ增產ノ上ニ非常ニ成績ガ擧リ、且ツ甚ダ缺乏シテ居リマス物資ヲ利用致シマス上カラ非常ニ能率ガ擧ルト思ヒマス、サウ云フコトニ付テ何カ政府ニ御計畫ガアリマスレバ、伺ヒタイト思ヒマス

○小川國務大臣　只今ノ御質問ハ御尤モノコトト存ジマス、石炭ニ例ヲ取ラレマシタガ、石炭ダケデナイ、先刻私ノ申シマシタ現下絶對ニ必要ナ資源、或ハ物資、サウ云フモノニ付テ生產力ヲ擴充シテ行カナケレバナラヌト云フ必要ガアリマスノデ、此ノ生產力擴充計畫ト輸送計畫、交通ノ計畫ト云フモノガピツタリ合ツテ來ナケレバナラヌト思フノデアリマス、例ヘバ石炭ヲ增產スルト云フコトハ、資本モ副ハナケレバナラヌデアリマセウガ、其ノ他之ヲ採掘スル總テノ施設ガ出來ル、出來レバソレヲ運ンデ行ク、其ノ運ンデ行クコトト、其ノ資源ヲ開發スル、或ハサウ云フ設備ヲスルト云フコトガ離レテ居ツテハイカヌモノデアル、サウ云フヤウニ私共ハ痛感シテ居ル譯デアリマシテ、過去ニ於キマシテ或ハソレガ離レ離レニナツテ、工場ヲ建テルトカ、或ハ鑛山ヲ採掘スルトカ云フヤウナコトヲヤル、鐵道ハ又別ダ、斯ウ云フコトガアツタカモ知レマセヌ、ケレドモ現在ハサウ云フコトデハイカヌノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ現內閣ハ國土計畫ヲ設定シタイト云フノデ、其ノ要綱ヲ決メテ居ルノデアリマスガ、其ノ中ニ所謂綜合的交通計畫ト鑛工業ノ配分計畫、其ノ他產業ノ配分計畫、サウ云フモノト聯繫ヲシテ計畫ヲ立テテ行クモノダト云フ大方針ヲ決定シテ居リマス、マダソレガ具體化スル迄ニ行ツテ居リマセヌガ、併シ之ニハ國土計畫委員會ト云フヤウナモノヲ設置シマシテ、サウ云フ方面ニ段々歩ヲ進メテ行クコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、隨テ是ハ石炭ノ問題ニ付テ申シマスナラバ、今御指摘ニナリマシタヤウナ或ル所ニ石炭ノ層ガ立派ナモノガアル、ソレヲ採掘スレバ非常ニ增產ガ出來ル、斯ウ云フコトニナレバ、是ハ石炭ニ關スル資源開發ノ一ツノ計畫ダト思フノデアリマス、ソレト交通計畫ガ聯繫ヲ以テ決メラルベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、併シソレハ石炭ニ限ラナイ、總テ國土計畫ニ考ヘテ居ル鑛物資源開發計畫ト云フヤウナモノハ、凡ユル鑛物ニ亙ツテ一ツノ計畫ガ定マルデハナイカ、或ハ工業ノ方モ亦サウ云フ風ニ綜合的ニ決マルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、大體ノ御趣旨ハ私共モ同樣ニ感ジテ居リマシテ、ソレヲ具體化スベク今考慮シテ居ル譯デアリマス

○東條委員　私共ノ考ヘテ居リマスコトト同ジコトヲ考ヘテ居ラレルコトヲ諒承致シマスガ、是ハサウ云フ風ニ是カラボツ〳〵研究スル、調査スルト云フヤウナ悠長ナ態度デ考フベキコトデハナイ、商工省ノ方ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ……

○星島委員長　今商工省ノ方ハ見エテ居リマセヌガ……

○東條委員　委員長ニ御賴ミシテ置イタノデスガ、マダ來ラレナイノデスカ

○星島委員長　今日ハ度々言ツタケレドモモ、院內ニモ來テ居ラナイノデス

○東條委員　サウ云フコトデアリマスレバ、私ノ質問ヲ遺憾ナガラ次ノ機會マデ繼續サテ戴クコトニ委員長ノ御諒承ヲ得テ置キタイ

○星島委員長　皆サンノ御異議ガナケレバサウ致シマス

○東條委員　一昨日カラ私度々御願ヒシテ置キマシタ、私ハ恐ラク第二順位ヲ戴イテ居ツタノデスガ、殆ド最終ト思ハレル所マデ御待チヲ致シテ居ツタノデアリマス、而モ前回ノ委員會ノオ終ヒノ時ニ、委員長ニ此ノ次ニハ是非商工當局ノ御揃ヒヲ願ヒタイト云フコトヲ特ニ御賴ミヲシテ置イタノデアリマスガ、ソレデハ國務大臣トシテハ鐵道大臣ニ御伺ヒヲシ、且ツ內務省關係ノ方モ來テ居ラレルコトデアリマスカラ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、一般論トシテ政府ノ御方針ガ私共ノ考ヘテ居ル點ト一致シテ居リマスルノデ、隨テ具體的ニ申シマスルト、現ニ是モ電力ト云フ重大ナル問題ニ關係ノアリマス日本發送電會社ガ必要ニ依ツテ子會社ヲ作ツテ經營ヲヤラシテ居リマス、釧路、彼處ハ御承知ノ雄別、釧路、舌辛ト非常ニ豐富ナ炭田ガアル、而モ日本發送電ノ關係ノ鑛區ノ其ノ奥ニモ亦之ニ匹敵スベキ大炭田ガ現存致シテ居ル、所ガ此ノ方面ニハ雄別炭山ガ持ツテ居リマス私設ノ線ガ一本アル、是ハ今マデハソレダケシカ開發サレテ居ナカツタノデアリマスカラ、當然サウデアルベキ筈デアリマスガ、舌辛ノ炭田及ビ其ノ奥ノ方ガ開ケルト云フコトニナリマスト、相當ニ大量ノ石炭ガ釧路港ニ出サレルコトニナルノデアリマス、ソレデ鐵道省トシテモ私設鐵道トノ關係、或ハ之ヲ買上ゲタ場合ニ於テ非常ニ困難ナ事情ノアルコトヲ先程モ伺ヒ、假リニ其ノ一帶ノ地方ノ出口ニ他ノ民有ノ鐵道ガアル、之ニ連絡ヲ致シマシテモ、其ノ鐵道ヲ利用致シマスル上ニ於テ、第二ノ專業家ガ非常ニ都合ガ惡イト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、更ニ又其ノ奥ノ鑛區ヲ開發致シマスル場合ニハ更ニ困難ヲ生ジテ來ルト云フコトニナルノデアリマシテ、斯樣ナ方面ニハヤハリ國有鐵道ガ出來ルコトガ必要デアル、今實例ニ擧ゲマシタ釧路炭田ノ如キハ、ソレコソ三十「キロ」カ四十「キロ」モ線ガ飛ビマス國有鐵道ガアルト致シマスナラバ、ソレニ此ノ豐富ナ全體ノ炭田ノ炭ヲ運ブ枝線ヲ銘々ノ經營者ガ拵ヘマシテ、サウシテ釧路港ヘ搬出ガ出來ルコトニナル鐵道ノ建設モ、今日御計畫ニナリ、今日工事ヲ始メラレマシテモ相當ノ期間ガ掛ル、鑛業ノ開發ノ方デモヤハリ今日計畫ヲ致シ今日着手ヲ致シマシテモ、相當ノ期間ヲ置キマセヌト出テ來ナイ、企業ノ計畫ガ出來タラ鐵道ヲ決メヨウ、鐵道ノ方ガ何トカ途ガ付キサウナラバ企業ノ計畫ヲ立テヨウト云フ兩方ノ睨ミ合デハ、是ハ非常ニ暇ガ掛ツテイツ出來ルカ分ラヌ、サウ云フ狀態デアリマスカラ、商工當局ト鐵道當局トガ、斯ウ云フ實例ハ全國至ル所ニアルト思ヒマスカラ、能ク御研究ニナリマシテ、サウシテ其處ニ僅カナル線ヲ延バセバ、或ハ僅カナル民有鐵道ノ買收ヲスレバ、非常ニ澤山ナ而モ必要ナル物資ガ出ルト云フ見當ノ付キマシタ時

ニハ、商工當局ノ方デモ一ツ肚ヲ決メテ、若シ其ノ範圍ノ鑛區ノ持主ガ企業ヲシナイナラ企業ヲ命ズルナリ、或ハ鑛業權ヲ處分スルナリ、如何樣ナル方法ヲシテデモ必ズ開カセル、同時ニ資金ノ方面モ國ガ工夫ヲシテヤル、物資ノ配給モシテヤル、サウシテ企業ヲサセルト同時ニ鐵道モ着手スルト云フ風ニ歩調ヲ揃ヘテオヤリニナリマスルナラバ、非常ニ此ノ貴イ鋼材ヲ僅カ使ツテ非常ナ能率ヲ擧ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス、又金ダトカ、銅ダトカ、鉛、亞鉛其ノ他ノ重要ナ物資ニ付キマシテハ、例ヘバ千島列島ニハ各種ノ鑛物ガ非常ニアル、併シアア云フ不便ナ所デアリマスルカラシテ、ソコニ製鍊所ヲ置イテ、サウシテ採掘製鍊ヲスルト云フコトハ非常ニ困難デアル、若シ是ガ簡單ニ運輸ノ途ガ付キマシテ、サウシテ島内ノ適當ナル場所ニ容易ク運搬ガ出來ルト云フ途ガ開ケマスルナラバ、鑛石デ持ツテ行キ製鍊スルコトガ出來ル、金ノ如キハ北千島ニハ到ル處ニアリマスガ、唯一箇所ニ非常ニ大量ノモノハナイヤウデアリマスガ、非常ニ品位ノ良イモノガ各所ニアルノデアリマスカラ、之ヲ運搬致シマスル上カラ採算ノ取レマスル性質ノ鑛區ガアル、サウ云フコトガ考ヘラレル、而モ一面北海道ニハ……

○星島委員長　東條君、御話中デスケレドモ鑛産局長ガ見エマシタカラ、序デニ一ツ……

○東條委員　承知シマシタ、一面ニハ北海道ノ或ル場所ニハ、原鑛ヲ一日ニ五百「トン」處理シ得ベキ製鍊所ガアリナガラ、之ニ來ルモノガナクテ十分ノ能率ヲ發揮シテ居ナイ製鍊所ナドモアル、斯ウ云フ所ヘ此ノ千島ノ鑛物ガ運バレルト云フコトニナリマスレバ、千島カラ持ツテ來ル品位ノ良イモノト、又其ノ附近ニアル低品位ノモノトヲ合セテ製鍊ヲ致シマスレバ、金ノ增產ニ非常ニ寄與スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、其ノ他所謂宗谷炭田デアルトカ、到ル處ニ立派ナル非常ニ豐富ナ炭田ガアル、ドウシテモ鑛物資源ノ開發ニハ鐵道ガ必要デアル、併シ鐵道ハ中々資材ガ得ラレナクテ思ツタヤウニハ延バセマセヌ、サウ致シマスト、ドウシテモ其ノ建設サレル所ノ新シイ線、或ハ現在アリマスル線ナリノ周圍ニアリマスル鑛區ヲ、商工當局ハ場合ニ依レバ傳家ノ寶刀ヲ拔イテデモ歩調ヲ合ハセテ開發ヲスル、サウシテソレハ全般ニト云フコトハ無論イカヌノデアリマスカラ、重點主義ニ最モ有利ナ能率ノ擧ル場所ヲ選ンデオヤリニナルコトガ必要デアル、是ガ全般的ナ國土計畫ガ本當ニ出來上ルノヲ待ツテヤルト云フヤウナコトデハ、是ハ常識的ニ見マシテモトテモ今日ノ急場ノ間ニ合ハヌト思フ、殊ニ商工當局デハ、ドノ方面ニハドウ云フ鑛物ガ大體アル位ナコトハ御分リニナツテ居ル筈デアリマス、最モ能率ノ上リサウナ方面ヲオヤリニナツテ、サウシテ又鑛床調査トカ云フコトノ十分ニ行屆イテ居ナイ點ガアリマスナラバ、重點主義デソコヘ全力ヲ擧ゲテ調査ヲサレ、サウシテ良イトナツタナラバ、ソレコソ國家ノ權力ヲ用ヒテデモ之ニ着業サセル、大藏當局ト御相談ニナツテ資金ノ問題モ考ヘテヤルシ、資材ノ配給モ考ヘテヤル、斯ウ云フ風ニ致シマスルナラバ、物資ノ增產モ出來マスルト同時ニ、此ノ鐵道ト云フモノモ非常ニ經濟的ニ使ハレルノデアリマス、無論船トノ連絡、或ハ港灣ノ關係等モ之ニ伴ハナケレバナラヌコトニナルノデアリマスガ、是ハ一ツ御關係ノ方面デ速カニ何カ適當ナ機關ヲ御作リニナツテ、オヤリニナルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、殊ニ國内デ、外地ヲ除キマスレバ鑛物資源其ノ他ノ資源ヲ多ク產スルノハ北海道デアリマス、商工當局デモ無論北海道ノ鑛物ニ付テ御調ベニナツテ居リマセウガ、費用ノ關係、人ノ關係其ノ他ノ關係デ十分ニ行屆カナイ、ソレガ爲ニ北海道廳トシテ別ニ千島、或ハ道内方面ノ鑛物資源ニ對シテノ調査ヲ進メルト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリマス、斯樣ナ點カラ致シテ、大體重點主義デカヲ注グベキ所ガ略、當局ハ見當ガ付イテ居ラレルト思フ、又之ヲヤリマスレバ生產擴充ノ急需ニ應ジ得ルト云フ計畫モ道廳當局ニハ立ツテ居ルト思フガ、此ノ場合サウ云フ點ニ付テ御調査ノ結果ナリ、御意見ナリヲ伺ヒタイト思ヒマス、同時ニ商工當局トシテハ鐵道當局ト歩調ヲ合ハシテ、重點主義デ此處ヲ開クト云フコトニナツタナラバ、詰リ唯當業者或ハ鑛區ノ持主、企業家ニ奬メルト云フコトデナシニ、場合ニ依レバ之ニ命ジテデモヤラシテ運輸機關ヲ能率的ニ使ヒ、生產ノ擴充ニ寄與スルト云フ御考ヘガアルカナイカト云フ點ヲ伺ヒタイ

○小川國務大臣　只今ノ御話ハ大體私モ同ジヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマス、鑛物資源ノ開發ト云フコトニ付テ概括的ニ申シマスレバ、是ハ各關係省ガ歩調ヲ同ジウシテヤルベキモノダ、其ノ御考ヘ方ニ對シテハ私モサウ考ヘテ居リマス、又ソレニハ資材、資金、其ノ他色々ノ關係ヲ考慮シナケレバナラヌガ、ソレニ付テハ重點主義デ行クト云フコトモ、是モ私共サウ考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ實際ニ之ヲ具體化スルト云フ時分ニ、鐵道ガドウナルカ、斯ウ申上ゲレバ、第一ニ資源ガ、例ヘバ石炭ナラ石炭、金ナラ金ト云フヤウナ御話デアリマシタガ、其ノ石炭ナリ金ガ其處ニ豐富ニアルト云フコトガハツキリシナケレバナラヌ、是ハ當然ノコトダト思フノデアリマス、唯風說デアリサウダト云フコトデ、直グ鐵道ヲ架ケル譯ニハ行カヌカト思ヒマス、第二ニハソレニ對シテ經營ヲヤル事業家ガ出テ計畫ガ立ツテ、愈、立派ナ鑛物資源ガアルノダ、ソレヲ如何ニ開發スベキカト云フ實際ノ計畫、詰リ資本家ガ出テ來テ事業經營ノ計畫ガ立ツテ、ソレニ對シテ今御話ニナツタ資金モ出來ル、資材モ其處ニ持ツテ行カレル、ソレハ勿論關係省ガ一緒ニ協力シテ行カナケレバナラヌ問題デアリマシテ、サウ云フコトニナツタ時ニ鐵道省ガ鐵道ヲ敷クト云フコトガ一緒ニ考ヘラルベキデヤナイカ、ソレガ今御話ノ關係省ガ歩調ヲ共ニスルト云フコトニナルノダト考ヘルノデアリマス、今日マデデモ私ハ綜合的計畫ト云フコトヲ申シマシタガ、ソレハ國土計畫ノ上デ、是ハ實ハ日本ダケデナクテ、日滿支全體ヲ含メマシテ綜合計畫ヲ樹テルト云フコトデアリマスカラ、サウ云フ意味カラ私ハ交通ノ綜合計畫ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、或ル鑛物資源ト云フモノガアル、ソレヲ開發シヨウト云フコトハ、其ノ綜合計畫ガ決マラナケレバヤラヌト云フノデハアリマセヌ、現ニ今日ノ豫算ニ出テ居ル中ニモ、或ハ石炭ノ增產計畫ニ「マッチ」シマシテ、增產計畫ニ竝行シテ鐵道ヲ延バシテ行カウトカ、其ノ他ノ設備ヲ整備シテ行クヤウニシヨウト

云フコトハ、ドシ〳〵ヤツテ居ル譯デアリマス、其ノ點ハ一ツ誤解ノナイヤウニ願ヒマス、大キク言ヘバ大計畫ヲ樹テルノダガ、現在ノ緊急ナルモノニ付テハ、サウ云フ大計畫ガ樹タヌ前ニ於テ、其ノ鑛物資源開發ナラバ鑛物資源開發ニ相應ジテ、鐵道省ハ其ノ運輸計畫ヲ立テ、之ヲ實行シヨウト考ヘテ居ルノデアリマス

○星島委員長　此ノ機會ニ東條君ノ御質問ニ對シテ、途中カラ御入リニナリマシタケレドモ、前カラ東條君ノ御希望デアリマスカラ、鈴木鑛產局長ト尾關管船局長ニ――鐵道大臣ノ御答辯デ大體東條君ノ御質問モ御想像出來ルト思ヒマスカラ御發言ヲ願ヒマス

○東條委員　詰リ今鐵道大臣ノ御答辯ノ中ニアリマシタヤウニ、凡ユル方面ノ力ガ一時ニ動カナケレバナラナイ、隨テドノ方面ニドウ云フ資源ガアルト云フコトノハツキリシテ居ルモノモアリマスシ、又大體ノ見當ノ付イテ居ル、ハツキリシテ居ルモノニ對シテハ、商工當局ハ自然ニ事業家ナリ資本家ナリガ開發スルノヲ待タナイデ、場合ニ依レバ國ノ權力ヲ用ヒテデモ是ノ開發ヲ命ズル、又アルト云フ見當ハ付イテ居ルガ、果シテソレダケニ豐富ナ立派ナモノデアルカドウカ、企業ノ價値ガアルカナイカト云フハツキリシナイモノニ付テハ、商工當局ガ進ンデ萬全ノ調査ヲサレテ、良イト云フコトデアツタナラバ、其ノ企業ヲ命ズルト云フ態度デオヤリニナルコトガ必要ダト思フガドウカ、隨テソレニハ鑛物ノ在リ場所、ソレノ使ヒ場所ニ依リマシテ、鐵道ト海運トガ協力致サンケレバ、假ニソレノ企業ガ出來マシテモ利用ガ出來ナイノデアリマスカラ、此ノ鐵道、遞信兩方ガ之ニ協力サレテ行カナケレバナラヌ、又內務當局ガヤハリ協力ヲ必要トスル點モアリマス、要スルニ事業家ガ自然ニ仕事ヲスルノヲ待タナイデ、詰リ此ノナイ中カラ鋼材ヲ確保シテ鐵道デモ敷カウト云フナラバ、私共ハ又其ノ鐵道ノ沿線ニ利用ノ能率ヲ萬全ニ發揮サセル爲ニ、命令ヲシテデモヤラセルコトノ出來ルヤウナコトニナツテ參ルノデアリマスカラ、命令ヲシテデモ開カセルカ、其ノ御考ヘガアルカナイカト云フコトヲ、商工當局ニ御尋スルト同時ニ、鐵道ノ方ハ今伺ツタノデアリマスガ、遞信省トシテモ必要ノ場合ニハ船ナリ、或ハ航路ニ關係シタ方面ナリヲ協力シテオヤリニナル御考ヘガアルカナイカ、又內務省當局トシテハ御見エニナツテ居ラヌヤウデアリマスガ、北海道廳長官ガ居ラレマスガ、北海道長官ハ大體北海道ニ於ケル鑛物資源ノ豐富ナル方面ニ付テ御調査ガ出來テ居ルヤウデスガ、ソレト、北海道ノ國費ノ施設ハ、北海道拓殖費トシテ道廳長官ガ大體握ツテ居ラレルノデアリマスガ、此ノ國ノ機關トシテノ北海道ノ資源開發ニ對スル御考ヘ、又今ドウ云フ計畫ガ立ツテ居リマスカ、計畫ガ立ツテ居ルナラバソレモ伺ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス

○鈴木(英)政府委員　鑛物開發ト交通ノ問題ニ付キマシテ、御意見甚ダ御尤モト拜承致シマス、ソレニ付キマシテ、鐵道大臣カラ只今御說明ガアツタ通リデアリマシテ、關係各省協力シテ之ニ當ラネバナラヌト云フコトニ對シテハ、全ク同樣ニ考ヘル次第デゴザイマス、北海道ヤ東北ノ方面ハ、交通ガマダ十分發達シテ居ラナイノデアリマシテ、隨ヒマシテ鑛物資源ト云フモノノ開發ニ付テ、十分調査ガ行屆イテハ居ラナイノデアリマス、ケレドモ私共當局カラ見マスト、日本ノ鑛物資源ノ開發ト云フコトハ、今後東北、北海道方面ニ最モ期待シテ居ルノデアリマス、新鑛山モ多クアチラノ方カラ發見サレルノデアリマス、時々色々ナ方ガ當局ヘ見エマシテ、斯ウ云フ山ガアルガ、鐵道ヲ敷イテ呉レタラドウカ、或ハモウ少シ運輸ヲ圖ツテ貰ヒタイト云フヤウナコトハ耳ニスルノデアリマスガ、マダ當局ノ調査トシマシテ、十分其處ニ非常ニ豐富ナ鑛量ガアルト云フ所マデ調査ガ進ンデ居ルノハ澤山ナイノデアリマシテ、マダソコマデ具體的ニハ話ガ進行シテ居ラヌノデアリマス、ケレドモ今後其ノ方面ニハ十分期待セラルル方面ガアルノデアリマスカラ、此ノ地下資源開發ノ非常ニ必要ナ今日ニ於キマシテ、地方監督局トモ能ク連絡ヲ取リマシテ、サウ云フ方面ノ開發上、交通運輸ノ建設ト云フコトニ對シテ、必要ガアルナラバ十分協力致シマシテ、鐵道省トモ能ク連絡シ、又御願ヒ致シマシテ、何トカ未開發ノ地ノナイヤウニ十分努メタイト思ツテ居リマス

○尾關政府委員　東條サンノ御質問ニ御答ヘ致シマス、鐵道省ト遞信省ノ方ニ於キマシテハ、特ニ仰シヤル通リニ、連絡ヲ緊密ニシテ行カナケバレナラナイノハ當然デアリマシテ、昨年ノ下半期頃カラ度々會合ヲ開イテ緊密ニシテ、支障ノナイヤウニシテ居リマスガ、只今仰ツシヤツタヤウニ、重要物資ヲ輸送スル上ニ於キマシテハ、尙ホ一段ト考慮シテ行カナケレバナラナイト考ヘマス、特別ノ港ニ於テ特ニ重要ナ物資ガ澤山出ルヤウニナリ、又將來出サナケレバナラナイト云フヤウナ時ガゴザイマシタナラバ、海運ノ方ニ於キマシテモ、是ハ重點主義デヤツテ行カナケレバナラナイコトハ、仰ツシヤル通リデアルト思ヒマス、遞信省ノ方ニ於キマシテハ、輸送ニ關シマシテハ政府ノ方デ配給輸送ノ計畫ヲ致シ、之ヲ中央統制輸送組合ニ命ジテ、輸送サスコトニ相成ツテ居リマスノデ、重要物資ガ特別ニ出テ、サウシテ特ニ急イデ輸送シナケレバナラナイト云フ時ニハ、其ノ方ニ十分ニ遺漏ノナイヤウニシテ行キタイト思ヒマス、又最近ハ機帆船組合モ全國ヲ統一致シマシテ、重點主義デ輸送サスコトニナリマシタノデ、更ニ今マデヨリモ重點主義、計畫的、統制的ニ輸送ガヤツテ行ケルモノト考ヘテ居リマス、隨テ今マデヨリ以上ニ鐵道省ト緊密ニ連絡ヲ取ツテ、輸送ニ支障ノナイヤウニシテ行キタイト思ヒマス

○松浦(周)委員　私一寸序ニ此ノ際關聯シテ御質問ヲ申上ゲタイコトガアルノデスガ、今御許シ願ヘバ時間ノ節約ニナツテ大變都合ガ宜シイカト思ヒマスガ……

○星島委員長　一寸御待チ下サイ――御諮リシマスガ、モウ十二時モ過ギマシタガ、アト三人バカリノ方ノ質疑ガ殘ツテ居リマス、就テハ又改メテ此ノ委員會ヲ開クコトモ何デスカラ、少シ御辛抱ヲ願ツテ、十二時半過ギ頃マデ繼續シテ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○星島委員長　ソレデハ左樣取計ラヒマス――デハ東條君御質問ヲ御續ケ下サイ

○東條委員　私ガ御伺ヒシマシタノハ、商工當局ガ鐵道其ノ他ト連絡ヲ取ツテト云

フ、サウ云フ一般的ナ意味デハナイノデアリマス、御承知ノ通リ彼處ニ鑛山ガアルカラ鐵道ヲ敷ケ、何ガ出ルカラ鐵道ヲ敷ケト云ツテモ中々敷ケナイ、ソレデ成ベク短イ距離デ、之ヲ能率的ニ使ハウトカ、其ノ他色々考ヘナケレバナラヌ鐵道ガ現ニアル、或ハ玆ニ一ツノ大キナモノガアツテ、ソレダケニ、敷ケト云フコトハ出來ナイガ、其ノ周圍ニ同ジヤウナ國家ノ急ヲ要スル物資ガ出ルナラバ、無理ヲシテデモ鐵道ガ敷ケルト云フヤウナ場合ニ、其ノ周圍ノ鑛業權者ガ立派ナモノガアルノニモ拘ラズ、着業シナイト云フヤウナコトガアリマスナラバ、其ノ爲ニ鐵道ガ敷ケナイデ、其處ノ物ガ出セナイトカ、或ハ鐵道ヲ敷イテモ、能率ガ甚ダ低イトカ云フコトニナルノデアルカラ、サウ云フ場合ニハ國家ノ權力ヲ以テ之ニ開發ヲ命ジテデモオヤリニナル御考ヘガアルカドウカ、サウ云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ明瞭ニ御答ヘヲ願ヒマス

○鈴木(英)政府委員　鑛物開發ノコトニ付キマシテハ、御意見ニアリマス通リ、開發ヲ命ズルト云フコトハ、重要鑛物增產法ニモ規定シテアル通リデアリマシテ、資源ガアリ而モソレガ未開發ノ儘ニ殘ツテ居ル鑛區ガアリマシタナラバ、當局ハ之ニ對シテ增產開發命令ヲ出ス意思ハ十分持ツテ居ルノデアリマス、具體的ノ問題ガアツタナラバ、何時デモ其ノ法律ヲ發動スル考ヘヲ持ツテ居ルノデゴザイマス

○星島委員長　松浦サン、北海道長官ニ御聽キシタイノナラバ、此ノ機會ニ……

○松浦(周)委員　先程カラノ大臣ノ御答辯ヲ伺ツテ居リマスト、綜合物動計畫、或ハ綜合交通計畫、鑛物ノ資源開發計畫ト云フヤウナモノハ今商工當局ノ御答ヘニナリマシタヤウニ、關係省ガ全部歩調ヲ合ハシテヤツテ居ル、所謂重點主義デヤラレルト云フコトハ、是ハ洵ニ私共モ同感デアリマシテ、斯クナラナケレバ高度國防國家ノ建設ハ出來ナイト思ヒマス、今議題ニ上ツテ居リマス留萌鐵道買收ニ對シマスル交通運輸計畫ノ完璧ニ對シマシテ、三十日ノ委員會デ留岡地方局長ニ色々ト御尋ネ致シマシタガ、結論ヲ得ルニ至ラナカツタノデアリマス、軍ノ機密ニ關係スル所カラ、此處ニ「トン」數ヲ明示スルコトハオ互ヒニ控ヘロト云フコトニナツテ居リマスカラ申上ゲマセヌガ、大體私ノ調査ニ依リマスレバ、現在留萌港ノ呑吐力ノ三倍乃至四倍ノ計畫ヲ、鐵道當局ハ持ツテ居ラレルト存ジマス、サウスルト、折角之ヲ買收致シマシテモ、此ノ綜合交通運輸計畫ニハ殆ド一致シナイコトニナリ、荷物ガ港ニ參リマシテモ喉ガ狹クテ吐出スコトガ出來ナイ、殊ニ長官ハ北海道ニ參ラレマシテカラ、北海道ノ資源綜合計畫ヲ御立テニナリマシテ、色々ト新ラシイ「プラン」ヲ立テテ居ラレマス、玆ニ政府當局ガ各省トノ歩調ヲ合ハシテヤルト云フコトヲ「イデオロギー」ニシテ御考ヘニナツテ居ルナラバ、此ノ留萌鐵道買收ニ相應シイ留萌港ノ擴張計畫ヲ持タナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對シマシテ長官ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、過日留岡局長ハ道廳當局トモ能ク相談シテ、來年度ノ豫算編成ニ於テハ一ツ考慮スルト云フコトヲ述ベテ居ラレマシテ、ソレ以上ノコトハ申サレマセヌデシタ、ソレダケデハ本當ノ連絡ノアル各省歩調ノアルモノトハ言ヒ難イノデアリマスガ、大臣ノ御答辯ニ相應シイ御計畫ガ定メシアラウト私ハ思フノデアリマス、尙ホ重ネテ申シマスガ、此ノ留萌鐵道ヲ買收ニナル鐵道當局ノ方ノ御考ヘハ、輸送能力ノ經濟化、或ハ鐵道ノ運輸負擔ノ輕減ト云フヤウナコトカラ、最短距離ノ陸路輸送ヲ以テ島外ニ出サウト云フ計畫カラ、彼處ニ御計畫ニナツタコトハ當然デアラウト思フノデアリマス、其ノ見地カラ考ヘマスト、過日モ申上ゲマシタガ、是ガ北海道ノ四分ノ一ノ地積ニ對シマシテハ最短距離ノ陸路デアル、現在ノ金額ニ致シマシテ約四億ノ生產ヲ其ノ地內デ出シテ居ル、而モ北海道全體ニ於ケル石炭ノ埋藏量ハ、全國ノ六割ヲ保有シテ居ル、併シ採炭サレテ居ルモノハ全國ノ三割シカ採炭サレテ居ラナイ、斯ウ云フ見地カラ、其ノ六割ヲ保有シテ居ル全島ノ石炭ノ埋藏サレテ居ル地域ハ、殆ド留萌港ノ背部方面デアリマス、之ニ對シマシテ一面カラ言フト、港ニ出シテ來テ其處デ石炭ノ加工ヲシテ、サウシテ荷物ノ嵩ヲ少クシテ出スト云フ御考ヘモ一ツハアリマセウ、併シナガラ現在其ノ背部方面ニ於テ計畫サレテ居リマス所ノ石炭液化、或ハ硫安、或ハ「パルプ」工業、或ハ其ノ他ノ石炭ヲ原料トスル所ノ各種ノ工場ガ盛ンニ起リツツアリマス、是等ノ製品ヲ輸送スルダケデモ、現在ノ港ヲ以テハ狹隘ヲ感ズルノデアリマスガ、之ニ對スル長官ノ御意見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

序デゴザイマスカラ、大臣ニ一點ダケ御伺ヒシテ、私ノ申込ンデ置イタ質問ハ是デ打切リマス、先程山崎委員トノ質問應答ノ中ニ、幹線ノ輸送能力ノ增大ニ付テ色々ノ議論ガ交サレマシタ、所ガ先程ノ長崎サンノ御答辯ノ中ニハ、微弱デアルト思ツテ居ツタ線路ガ思ヒモ寄ラヌ荷物ヲ輸送シテ來ルヤウニナツタ、ダカラ之ヲ外スコトハ困難ダト云フヤウナ御話ガアリマシタ、私ハサウ云フ狀況ニアル地方ニ住ンデ居リマスノデ、此ノ點ハ長崎局長ノ氣持ガ能ク分ルノデアリマス、殊ニ幹線ノ輸送能力ヲ增大セシメルモノハ、結局末稍ノ運輸機關デアルト思ヒマス、生產力ノ擴充ノ爲ニモ末稍運輸機關ノ擴充ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ委員會ニ併託サレテ居リマス北海道拓殖鐵道ノ補助政策モ、其ノ原理カラ出發シテ居ルモノダラウト思ヒマス、ソレハ二十數年ノ補助ヲスルト云フヤウナコトニ依ツテ政府ノ意圖ガ分ルト思フノデアリマスガ、此ノ拓殖鐵道ニ依ツテ此ノ地方ノ者ガ受ケル恩惠モ少クナイデアリマセウ、然ルニ時局ガ現在ノヤウナ狀況ニナツテ、或ハ統制經濟カラ計畫經濟ニモ進マウトシ、又總テノモノガ整理合同セラレルト云フ時ニ、鐵道ニ關シテハ、過日手代木先輩又山崎氏ノ質問サレマシタ如ク、損ノ行ク鐵道ハ買ハナイ、斯樣ナコトノ爲ニ拓殖鐵道デアルトカ、私設鐵道ノ附近ニ住ンデ居ル人々ハ國鐵ノ恩惠ヲ受ケルコトガ出來ナイ、其ノ爲ニ生產力ノ擴充モ十分出來ナイ、私設鐵道ハ國鐵ノヤウニ總テノ設備ガ完備致シテ居リマセヌ、國家ノ運輸ノ恩惠ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトハ、半面生產力ガ減退スルコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ、此ノ際鐵道ハ總テ全國ヲ一ツニシテ經營シヨウ、國鐵ノ本來ノ使命ヲ發揮スルヤウニシヨウ、電氣ガ國家管理ニ依ツテヤラレルヤウナコトト睨ミ合ハシテ考ヘマスト、斯樣ナ國家ノ恩惠ノ薄イ地方

ノモノヲ買收シテ、國家經營ニ依ツテ生産力ノ擴充ヲスルコトガ當然デハナイカ、ソレニハ公債政策其ノ他ノ關係ガアルト仰セラレマシタガ、鐵道ハ常ニ黑字ヲ出シテ居ラレル、此ノ黑字ヲ運輸ノ利益ハ運輸ニ還元スル、他ノ一般會計ニ廻サナイト云フ建前ノ下ニ、ソコハ大臣ノ政治折衝ニ依ツテ、私設鐵道ニ類スルモノヲ一ツノ計畫ヲ立テテ將來ハ全部國鐵ニスル、サウ云フ御考ヘガアルカドウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○小川國務大臣　松浦君ノ御質問ノ中ニ、私ノ前ノ說明ヲ多少誤解サレテ居ル所ガアツタカト思ヒマス、幹線ダトカ末稍ノ線トカ云フ御話ガアリマシタ、幹線ノミニ力ヲ入レテ末稍ノ線ハ顧ミナイヤウニ考ヘテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ受取リマシタガ、アノ山崎君ノ御質問ハ東海道カラ下關ニ行ク新幹線ノコトニ付テ、ソレダケデハ駄目デヤナイカト云フ御質問デアリマシタカラ、今幹線ニ付テ私ハ申上ゲタ譯デアリマシテ、何モ幹線ダケデ、他ノ方ヲヤラナイト言フノデヤアリマセヌ、ソレハ豫算ノ上ニモ明カニ示シテアリマスカラ、ソレヲ玆ニ詳細ニ論ズル必要ハナイト思ヒマス、又買收ニ付キマシテハ度々說明ヲ致シマシタヤウニ、建設工事上必要ト認メタルモノ、ソレカラ運輸系路上必要ト認メタルモノ、軍事又ハ産業上必要アリト認メタルモノ、サウ云フヤウナモノヲ買收スルト云フ方針デヤツテ來タノデアリマスガ、今日ノ時局ニ際シマシテハ特ニ生産力ヲ擴充スルトカ、或ハ軍事上ノ必要デアルトカ云フヤウナ所ニ最モ力ヲ入レテ行カナケレバナラヌ、買收ハサウ云フ方面カラ決メラレテ行クト云フコトガ最モ適當ダト考ヘルノデアリマス、玆ニ出シテアリマスル案モ、サウ云フ時勢ノ要求カラ、之ニ應ジヨウトシタモノデアリマス、全國ノ總テノ地方鐵道ヲドウスルト云フ計畫ヲ立テテヤツタラドウカ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、御尤モデアリマスケレドモ、其ノ計畫ヲ立テテ、之ヲ何年ニヤリ、之ヲ何年ニヤルト云フヤウナコトハ、多少ソコニ弊モ起ルシ、前カラ申シマシタ公債政策トカ何トカ云フモノハ其ノ時〳〵ニ決マルモノデアルシ、又物動計畫ト云フヤウナモノモ御承知ノ通リニ一年限リデ決マルモノデアリマスカラ、之ヲ五年ナリ十年ナリ買收計畫ヲ決メテ居リマシテモ、ソレガ旨ク行クカ行カヌカ分ラナイノデアリマシテ、其ノ時其ノ年ニ物動計畫ナリ、或ハ資金計畫ナリ、或ハ公債政策ナリヲ睨ミ合ハセテ決定スル方ガ實行ニ都合ガ宜イノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、損ヲスルヤウナ鐵道ハ買ヘナイノダト云フヤウナ御意見カラノ御質問ガアリマシタガ、ソレハサウデヤナイノデアリマス、今マデ其ノ鐵道ガ儲ツテ居ルカ、儲ツテ居ナイカト云フコトハ買收ノ方針トシテハナイ譯デアリマシテ、寧ロ前ニ申シマシタヤウナ建設工事上必要デアルトカ、運輸系絡上必要デアルトカ、産業上、國防上必要デアルトカ、殊ニ生産力擴充上必要デアルトカ、斯ウ云フ方面カラ見テ居ルノデアリマスカラ、此ノ線ハドウモ餘リ儲カラヌカラ買ハヌトカ、是ハ利益ニナルカラ買フトカ、サウ云フモノデハアリマセヌ、其ノ邊ハ十分ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○戸塚政府委員　東條君、松浦君カラ御話ガアリマシタガ、私ハ內務省ノ役人デハアリマスガ、實ハ北海道ニ居リマスノデ、自然政府ノ役人トシテ御答スルト云フ氣持ヨリハ、寧ロアナタ方ト一緒ニナツテ同ジヤウナコトヲ言フヤウナ嫌ヒガアリハシナイカ、私ノ本當ノ氣持ガソコニアルモノデスカラ、政府ノ役人ラシクナイコトヲ申上ゲルヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ、八百長デヤツテ居ル譯デハナイノデ、御尋ネガアリマシタカラ私ノ考ヘテ居ル點ヲ一應申上ゲテ見タイト思ヒマス、資源開發ニ付テ鑛山、詰リ鑛區ノ調査ハ道廳アタリデモ十分ニ出來テ居ルダラウト云フ御話デゴザイマシタ、鑛產局長ハ、マダ何分交通施設其他モ不十分デアルノデ十分調査ガ出來テ居ラヌト云フヤウナ御答辯ガアツタヤウデアリマス、是ハ御承知ノヤウニ鑛山監督局デ主トシテヤツテ居リマスノデ、道廳デサウ詳シク分ツテ居ルト云フ所マデ參ツテ居リマセヌ、併シ道廳ガ鑛床ノ調査ヲ長年掛ツテヤツテ居ルコトハ事實デアリマスガ、マダ私ノ手許マデ明確ナ調査ガ出來タト云フ報告ニ接スル所マデ參ツテ居リマセヌ、併シ積ツテ見テモ御分リダト思ヒマスガ、此ノ事變以來北海道デ所謂新シイ山ガ、石炭ト言ハズ、金ト言ハズ、或ハ「アルミニウム」其ノ他「マンガン」凡ユル鑛區ガ開發サレテ居ルコトハ、是ハ北海道ノ人デナクテモ、政府ノ各當局モ皆知ツテ居ルコトダト思フ、サウ調査ガ正確デアルトカ、十分デアルトカ云フコトヲ考ヘナイデモ、北海道ノ山ガ今後開カルベキモノガアルト云フコトハ何人ニモ分ツテ居ル所デアリマス、內務省ノ關係デ拓殖費ガアルカラ是デ相當ニヤルベキダト云フ御話デアリマシタガ、來年度ノ豫算ノ中ニモ相當ニ北海道ノ拓殖ト申シマスカ、伸展ニ寄與スル豫算ハ提出サレテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、併シ私北海道ヲ預ツテ居ル身カラ見マスレバ、コンナコトデハ迚モイケナイト云フ氣ハ無論アリマス、ソレカラ北海道ト云フトイケナイカモ知レマセヌガ國土計畫ノ御話ガ先程出テ、又鐵道大臣カラ今後ノ我ガ國ノ行キ方ガ生產擴充ト云ツテモ、單ナル生產擴充デハナイ、東亞共榮圈自給自足ト云フ建前カラ行クベキモノデアルト云フコトデアリマスガ、是ハ誰モサウ考ヘテ居ルト思ヒマス、此ノ機會ニ各省ノ連絡ノ御話ガゴザイマシタカラ、私ハ北海道デ心掛ケテ居ルコトヲ少シ申上ゲテ見マスルト、丁度先般政府デ發表ニナリマシタ國土計畫綱要ノ地方計畫ニ該當スルモノデアリマスガ、北海道ノ產業ヲ主ト致シマシテ、北海道ノ綜合計畫ヲ立テルト云フコトヲ考ヘラレマシテ、既ニ東條君ナリ松浦君ハ大要ヲ御承知戴イタト存ズルノデアリマスガ、其ノ行キ方ハ御說明スルマデモナク、國土計畫綱要ニ現ハレタ所ト略ゞ同樣デアリマスガ、今各專門ノ部門ヲ九ツ程ニ分ケマシテ、ソレ〳〵ノ研究ヲ致シテ居リマスルガ、其ノ中大體ノ案ガ成立ツタノハ山林ノ關係ト農業ノ關係デアリマス、山林ノ關係ニ付テハソレ〳〵來年度ノ拓殖費モ豫算ニ相當額計上セラレマシテ、實行ニ掛ツテ居リマス、既ニ今年度ノ追加豫算トシテモ數百万圓ノ計上ヲ得テ實施ニ掛ツテ居ルノデアリマス、農業ノ關係ニ付キマシテハ、餘リ長クナルトイケマセヌカラ色々申上ゲマセヌガ、北海道ノ農業ハ、今マデモ無論指導的ニハ左樣ニ申シテ居ツタモノノ實現シナカツタ、詰リ寒地農業ノ確立ト云フコトニ中心ヲ置キマシテ、各方面カラ地力ノ維持增進ト云フコトヲ主眼ト致シマシ

テ、所謂有畜農業デ北海道ノ農業ヲ進メテ行ク云フコトニ根本ノ方針ヲ決メテ居リマス、ソレデ北海道ノ土地ノ改良ト云フコトニ關スル豫算ハ、從來ヨリモ相當額ノ增額ヲシテ、來年度ノ豫算ニ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ他水產ノ方面ナリ、或ハ鑛業ノ方面ナリ、或ハ工業ノ方面ナリ、ソレ〴〵ノ部門デ今官民ノ專門ノ方ニ色々研究ヲシテ戴イテ居リマス、其ノ中ノ一部ニ、ヤハリ交通運輸ニ關スル部門ニ付テモ研究ヲシテ戴イテ居ルノデアリマス、是ハ委員會ヲ始メマシテカラ約半年ニナリマスガ、今年中ニハ相當ノ成案ヲ得ル見込デアリマス、是ニハ先程モ御話ガアリマシタヤウニ、鐵道局長以下、或ハ鑛山局長以下、遞信局長以下ノソレ〴〵ノ各省ノ關係ノ方ニモ參加シテ戴イテ居リマス、又民間ノ專門的ナ知識ヲ持ツタ人ニモ參加シテ戴イテ居リマシテ、段々成案ヲ得ントシテ進ンデ居ルノデアリマス、若シ是ガ大體ノ案ガ出來マスレバ、各種ノ產業ヲ通ジテ、ソレコソ綜合的ニドウ云フ鐵道ノ施設ヲ御願ヒシタラ宜イカ、或ハ道路、橋梁ヲドウシタラ宜イカ、港灣ヲドウシタラ宜イカト云フコトノ結論ヲ得テ、政府ノ各省ニ御願ヒシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ今進ミツツアル次第デアリマス

千島ノ問題ナドモ一昨年カラ掛ツテ千島ノ開發ノ調査ヲ致シテ居リマスガ、マダ其ノ結論マデニハ達シテ居リマセヌ、私ノ考ヘテ居ル所デハ、千島ノ太平洋岸ニ港ヲ造ルコトガ急務デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今マデノ千島列島ニ於ケル港ハ、總テ「オホーツク」海デアリマスノデ、冬季ノ交通ガ困難デアル、ソレデ太平洋岸ニ港ヲ造ルヤウニシナケレバイカヌ、殊ニ北邊ノ防備、サウ云フ點カラ考ヘテモ、千島トハ年間交通ガ出來ルヤウニシナケレバ本當デハナイト考ヘテ居リマス、サウナレバ自然先程御話ガアリマシタヤウナ資源ノ輸送ト云フヤウナコトモ出來ルノデアリマスルガ、何分北海道ハ廣イノデ、吾々ガ考ヘテ居ル開發的ノ施設ノ費用ガ、今日拓殖費ニ計上セラレテ居ルヤウナ程度デハ到底千島マデ及ブコトハ出來マセヌ、ソレデ又ソレニハ色々ノ工夫モ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、綜合計畫ガ一面ニ理想デアルト同時ニ、又一面ニハ緊切シタ時局ニ對應シテ行クコトモ最モ必要ナコトデアルト云フ風ニモ私ハ考ヘテ居リマスノデ、自然理想ト現實トノ中間ヲ取ツテ、必要ナルコトヲ成ベク早クヤルヤウニシテ行カナケレバナラヌノデハナイカト思フ次第デアリマス、松浦君ノ留萌港擴張計畫ノ御話モ、自然今申上ゲタ所ト同ジ所ニ歸スルノデアリマスガ、唯御言葉ヲ捉ヘテ取敢ズ御答ヘ申上ゲマスレバ、地方局長ト打合ハセルト云フ答辯ガアツタサウデアリマスガ、マダ打合ハセテ居リマセヌ、十七年度ノ豫算ト云フコトモ今考ヘテハ居リマセヌ、ソレカラ鐵道ノ方デ買收セラレタ綜合的ノ連絡ガ云々ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ現在ノ施設ノ變更デハナイト思フノデアリマシテ、留萌港ノ背後ノ開發ノ調査ヲ致シテ居リマスガ、マダ其ノ結論マデニハ達シテ居リマセヌ、私ノ考ヘテ居ル所デハ、千島ノ太平洋岸ニ港ヲ造ルコトガ急務デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今マデノ千島列島ニ於ケル港ハ、總テ「オホーツク」海デアリマスノデ、冬季ノ交通ガ困難デアル、ソレデ太平洋岸ニ港ヲ造ルヤウ

モ考ヘタ上デ、留萌港ノ擴張計畫ヲ致シタイト思フノデアリマス、留萌港ノ擴張ニ付キマシテハマダ成案ヲ得テ居リマセヌ、色々ノ案ガアリマシテ、マダドレガ良イカト云フコトマデハ考ヘテ居リマセヌガ、案ニ依ツテハ鐵道ノ方ト十分連絡ヲ取ラナケレバイケナイ案モアリマス、是等ニ付テハ今少シク研究ヲ致シタ上デナケレバナラヌ、斯ノ樣ニ思フノデアリマス、御話ノ如ク或ル考ヘ方デハ非常ニ急グト云フコトニナリマスガ、今ノ所デハ非常ニ急イデモ中々實現ハ困難ト云フ考ヘ方ニモナリマスガ、ソレデ最モ急グ點トシテ來年度、再來年度二箇年デ留萌港ノ浚渫計畫ヲ實ハ豫算ニ計上シテ居ルノデアリマシテ、內港或ハ奧部ノ方ノ利用活用ト云フヤウナ擴張計畫ハ、今少シク研究ヲ致シタ上ニ致シタイト、斯樣ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○星島委員長　太田君

○太田（理）委員　私ノ質問ハ此ノ提案トハ直接關係ハナイノデゴザイマスガ、今日最モ力ヲ致サナケレバナリマセヌ食糧增產ノ確保ト云フ見地カラ、極メテ簡單ニ二、三ノ點ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス、今日マデノ御答辯ヲ拜聽致シマシテ、私鐵買收ノ根本方針ガ生產力擴充ヲ目標トシテ居ラレルト云フコトヲ拜聽致シタノデゴザイマス、固ヨリ今日當然ノコトト思ヒマスガ、其ノ生產力擴充ノ基準ヲ御決定ニナル場合ニ、例ヘバ新タニ炭田ヲ開發スル場合トカ、或ハ軍需工場ヲ維持スルトカ、斯ウ云フ點ノミヲ御取上ニナツテ、多年ニ亙ル、詰リ自然的ノ產業ノ開發ニ因ル輸送量ノ增加、殊ニ旅客ノ激增ニ付テハ、全然御考慮ニナツテ居ラレナイノデハナイカト思ハレル節ガアルノデアリマス、所謂重點主義、又ハ大所高所カラ見マシテ、是モ已ムヲ得ヌコトトハ思ヒマスガ、詰リ今日一ツノ生產力ノ擴充ト云フコトハ、將來モ相當致サナケレバナラヌト同樣、今日現實ニ輸送ニ困ツテ居ル所ヲ、先ヅ第一ニ買收ニ依ツテ施設ヲ改善スルト云フコトガ、私ハ前段ト同樣ニ見テ然ルベキデアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマス御方針ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○小川國務大臣　私ハ生產力ノ擴充ト云フコトヲ强調致シマシテ、何遍モサウ云フヤウナ言葉ヲ申上ゲマシタ、產業上必要デアルトカ、或ハ運輸系統上必要デアルトカ、サウ云フヤウナ線ヲ買フノデアルト云フ從來ノ方針ニ變リハナイガ、特ニ今ノ時勢ガ時勢デアルカラ、生產力ノ擴充ト云フコトニ重キヲ置ク云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、御質問ノ趣旨ニ少シモ副ハヌノデハナイ、運輸系統上必要デアルト云フノハ、富士身延鐵道ナドハ、一寸見マシテモ是ハ運輸系統上ニ必要デアルト云フコトニ相當見ラレル譯デアリマシテ、又サウ云フ意味モ多分ニ持ツテ居ル譯デアリマス、留萌鐵道ナドハ是ハ石炭ヲ增產シテ、ソレヲ運ンデ行ク、或ハ新潟臨港鐵道買收ト云フノハ、大陸トノ水陸連絡ト云フヤウナコトヲ考ヘテ十分强調シテアリマスガ、茲ニ運輸系統上ノ考ヘガナイデハアリマセヌ、勿論當然デアリマス、既ニ度々質問應答ガアリマシタ通リニ、今日ハ輸送ガ非常ニ殖エテ設備ガ之ニ副ハヌト云フヤウナコトデアリマスカラ、何事モ輸送ヲ旨ク吐カシテ行カウト云フコトデ、何處モ困ツテ居ルノデアリマスカラ、左樣御諒承願ヒマス

○**太田(理)委員**　地方的ノ問題ヲ具體的ニ申上ゲマスト、何カ陳情ニ出スヤウデ恐縮ニ存ズルノデゴザイマスガ、例ヲ九州ノ島原鐵道ニ取ツテ見マスト、同鐵道ハ其ノ創立ノ古イ點、又建設費ニ對スル收益金ノ高イ點ハ、私カラ申上ゲルマデモナク既ニ御承知ノコト思フノデアリマスガ、是ハ取リモ直サズ最近ニ於キマス同鐵道ニ依ル運輸量ノ激增ヲ物語ルモノデアリマスガ、此ノ運輸量ノ激增ニ對スル會社當局ノ輸送力ハ之ニ伴ハズ、寧ロ逆行シテ居ル傾向ガアルノデゴザイマス、殊ニ昨年ノ九月以降數箇月ノ間ハ、機關車ノ故障トカ何トカ言ツテ居リマシタガ、各列車ガ殆ド一、二時間ノ延着ヲスルシ、或ハ又豫定ノ列車ノ運行ヲ取消ストカ云フヤウナ狀態デ、會社問題マデ起スヤウナ情勢ニアリマシタノデ、當時私ハ本省ヲ通ジマシテ門鐵當局ニモ實情ヲ具陳シタヤウナ譯デゴザイマスガ、承ル所ニ依リマスト、同線ハ觀光「ルート」デアルカラ、戰時下ノ今日ニ於テハ買收ノ詮議ノ對象ニスラナツテ居ラナイト云フコトヲ說ク人ガアルノデゴザイマスガ、若シ事實サウデアルト致シマシタナラバ、是ハ非常ナ認識ノ相違デゴザイマシテ、アノ沿線一帶ノ農水產物、殊ニ事變下最モ緊急ヲ要シマス所ノ國營ノ無水酒精場ニ對シマスル原料品ノ輸送ナドハ、殆ド此ノ線一本ニ依ツテ輸送サレテ居ルノデアリマス、ノミナラズ此ノ「ダイヤ」ノ不正確ニ依リマス農漁民ノ空費スル時間、之ニ依ル生產力ノ減少ハ相當大キナモノデハナイカト思ヒマス、殊ニ此ノ線ニ依ツテ七校ノ中等學校ノ生徒ガ通學シテ居ルノデゴザイマスガ、是等ノ生徒ニ對シテ、正確ナルコト汽車ノ如シト言フノニ、コンナニ世ノ中ハダラシガナイノカト云フ考ヘヲ抱カシムルコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、サウ云フ點カラ私ハ、今日公債政策其ノ他モゴザイマセウカラ、敢テ買收ノ陳情ヲスルノデハゴザイマセヌガ、公的機關デアリマス私鐵ノ監督ト申シマスカ、是ハ事ノ起ルノハ其ノ時ニ起ルノデハナクシテ、必ズ原因ガアルノダト思フノデゴザイマスカラ、サウ云フ場合ニ對處スル爲ニ、今少シ監督ヲ嚴重ニヤツテ戴キタイ、時間ガアリマセヌカラ續イテ申上ゲマスガ、近ク關門「トンネル」ノ開通モアルコトト思ヒマスガ、其ノ後ニ來ル長崎ガ、日本ノ西玄關トシテ、又南進ノ基地トシテ業務ガ輻湊スルコトハ是ハ當然ノコトデゴザイマスカラ、其ノ場合ニ於キマシテ、南九州ニ對スル輸送、水陸ノ連絡設備ハ此ノ線ニ依ルモノガ非常ニ多イノデハナイカト私ハ思ヒマス、サウ云フ點カラ此ノ線ニ對スルドウ云フ御考ヘヲ政府ハ持ツテ居ラレマスカ、御差支ヘナケレバ御伺ヒシタイノデゴザイマス

○**鈴木(清)政府委員**　地方鐵道ノ現實ノ輸送能力ガ低イノハ、是ハ敢テ地方鐵道ノミデナク、國有鐵道モサウデアリマスガ、資材ノ關係モアリマセウシ、又會社ノ設備ノ關係モゴザイマセウガ、設備ノ改善ヲ促スベキ必要ガアリマスルナラバ、十分監督致シマシテ善處致シタイト思ヒマス、關門「トンネル」ノ敷カレマシタ後ニ於キマスル長崎線ノ使命ヲドウ考ヘルカト云フ御話デゴザイマスガ、現在ニ於テモ長崎線ハ日滿間ニ於キマス交通トシテ主要ナル「ルート」デアルト考ヘマスルノデ、現ニ山口、鳥栖間ノ線路ノ增設改良費モ、本年度ノ改良費ニ上ツテ居ルノデアリマス、アノ輸送力ノ强化ノ方法ハ講ジテ居ルノデアリマス

○**太田(理)委員**　モウ一點、是ハ買收ノ前提カドウカ存ジマセヌガ、仄カニ承リマスト、アノ狹イ半島ニ二ツアル、吾々モ不自然ダト思フノデアリマスガ、島原鐵道、口之津鐵道兩社ニ合併ノ慫慂ヲシテ居ラレヤウニ承ツテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ吾々素人カラ考ヘマシテモ、輸送力ヲ强化スル上ニ於テ當然サウナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、之ニ對スル兩社ノ考ハドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカ

○**鈴木(清)政府委員**　全國ニ於キマシテ數多ノ私設鐵道ガゴザイマスガ、其ノ各地方ニ於キマスル各地方鐵道ガ或ハ接續シ、或ハ併合シマシテ、機能一體トシテヤルベキ所ノモノニ付キマシテハ、其ノ時ノ必要ノ程度、又其ノ會社相互間ニ於キマスル現狀ヲ見マシテ、ソレ〴〵調整ノ方法ヲ取計ラツテ居リマスガ、今申サレマシタ島原及ビ口之津鐵道ニ付キマシテハ、本省當局トシテハマダ合併ノ慫慂マデハ致シテ居リマセヌ

○**星島委員長**　福田君

○**福田(悌)委員**　時間ガ迫ツテ居リマスノデ極ク簡單ニ御尋ネシタイ、地方鐵道ノ買收價格ノ算定表ヲ見マスルト、所謂利益ヲ或ル一定率デ二十倍スルコトニナツテ居リマスガ、此ノ二十倍ト云フノハ五分還元ノコトト思フノデアリマスガ、是ハ利益ヲ還元スルコトガ主眼デアリマスカ、ソレトモ國債ノ利子ト在來ノ收益トヲ合致サスコトヲ主眼トシタ方法デアリマスカ

○**大山(秀)政府委員**　買收ハ明治四十何年デシタカ、其ノ頃ノ十七鐵道買收ノ時分カラ其ノ價額ノ大體ノ主義ガ決ツテ居ル譯デアリマスガ、當時公債ノ利子ガ五分デアリマシタ、隨テ過去三年間ノ成績ニ依ツテ出ル利益ト云フモノガ、公債デ買ハレテモ其ノ公債ノ利子デ同ジモノガ入ツテ來ル、從來ノ會社ガ營業シテ得テ居ツタ利益ト同ジモノガ公債ノ利子デ入ツテ來ルト云フ考ヘ方デ來テ居ツタノデアリマス、詰リ當時ノ公債ノ利子ガ五分デアリマスカラ、五分還元ト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス、其ノ後四分五厘公債或ハ三分五厘公債ト變ツテ參リマシテ、根本ノ手取リノ金ニ多少ノ動キガ參ツタノデアリマスガ、二十倍ト云フコトハ、要スルニ今申シマシタヤウナ沿革ガ餘程重キヲ成シテ居ルノダト云フコトヲ申上ゲマス

○**福田(悌)委員**　サウシマスト、今日ノヤウニ國債利子ノ下リマシタ場合ニ於テハ、此ノ二十倍ヲ何トカ適當ニ改メル方ガ寧ロ合理的デハナイカト思ヒマス、之ヲ還元スレバ企業價値ガ出ルノデアリマシテ、其ノ出タ金ヲ交付公債デ渡ス場合ニ、三分五厘ノ時價デ換算スルカラ、處分價額デハ五分ト還元シタト同樣デアリマスガ、ソレハ金ヲ拂ハレル方デハサウデアリマセウガ、貰フ方デハ必ズシモサウトモ參ラナイ、此ノ時局ニ於テ公債ヲ何時マデモ持チ續ケナケレバナラナイ場合デアリマスカラ、此ノ利子ト云フモノガ、持ツテ居ル方カラ言ヘバ重大ナ關係ガアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、二十倍ト云フ數字ヲ然ルベク變更サレルヤウナ方法ニハ參ラナイモノカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○**大山(秀)政府委員**　御意見ト致シマシテハ御尤モノ點モアリマスガ、過去ニ於ケル實

際ノ場合ヲ見マスト、公債ヲ保有致シマシテ其ノ利子ガ同額ト云フ考ヘ方デ買收規定ノ元ハ出來テ居リマスガ、實際ニ於テハ處分價額ノ方ガ重點ヲナシテ居ル譯デアリマス、只今御指摘ノヤウニ、今後公債ヲ成ベク賣ラナイデ保有サスト云フヤウナ見方カラ致シマスルナラバ、更ニ大イニ研究スベキ必要ハアルダラウト思ヒマス、併シ實際問題ト致シマシテ之ヲ改ムル場合ニ、過去ノ實例ヲ以テシマスレバ皆之ヲ處分シテ居ル譯デアリマシテ、其ノ觀點デ處分價額ヲ三分五厘ト五分トノ比較ヲ致シマシテ、時價ニ於テ處分價額ヲ同ジクシタト云フ今ノ法制ハ正シイモノダト思ツテ居ルノデアリマス、又還元理論一點張デ行キマスナラバ、果シテ地方鐵道事業ト云フモノガ五分デ還元スルノガ宜イノカ、七分デ還元スルノガ宜イノカ、三分五厘デ還元スルノガ宜イカ、色色ナ議論ガ起リ得ルト思ヒマス、其ノ議論、沿革、實際色々ナモノヲ綜合シテ考ヘマスト、只今ノ所現行法ガ穩當ナル方法デハナイカト考ヘテ居リマス

○福田(悌)委員　新潟臨港鐵道ノヤウニ、過去三年間ハ無配當ヲ續ケテ來タノデアリマスガ、最近時局ノ波ニ乘リマシテ、川崎汽船ガ其ノ經營ニ乘出シマシタ、今後ハ日滿交通ノ要衝トシテ大イニ活躍ショウト云フ際デアリマシテ、會社トシテハ洵ニ望ノ多イ明日ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、偶〻過去ノ業績ガ振ハナカツタ、併シ今後ハ非常ニ有望デアルト云フヤウナ場合ニ、サウ云フコトハ此ノ買收價額ノ中ニ更ニ參酌サレナイノデアリマスカドウカ

○大山(秀)政府委員　鐵道ノ若イ場合ナドニ、其ノ將來性ヲ見込メト云フ御意見モアリ得ル譯デアリマス、又逆ニ自動車ニ盛ニ蠶食サレテ居リマシタヤウナ時代ニ於キマシテハ、從來ノヤリ方ガ高過ギルデヤナイカト云フヤウナ御議論モ一面ニ起ツタ譯デアリマス、是ハ或ル個々ノモノニ付テハ、將來性ヲ見込マスノハ酷デハナイカト云フ場合ガ起リ得ルノデアリマスガ、何シロ全國ノ色々ノ買收ノ場合ニ適用スベキ原則ト云フモノヘ、ドウシテモ決メテ置カナケレバナラヌモノデアリ、又サウスルコトガ一番公平ニ事ヲ運ビ得ルト思ツテ居ルノデアリマス、過去ニ於テ價格問題ニ付キマシテ色々御意見モ貴族院其ノ他デ出マシテ、結局建設費以內ニ於テ協定スベキ場合ニ於キマシテモ、收益力ヲ基本トシタモノヲ一トシ、建設費ヲ一トシ、合ハセタモノヲ二分シテ建設費以下デ買收スル場合ノ金額ヲ決メルト云フコトガ、殆ド慣習上確立致シテ居リマス、又ソレニ相當長イ間兩院トモ御贊成ヲ願ツテ居ル譯デアリマス、特ニ新潟ノ場合ニ於キマシテハ、御話ノ點ガアリ得ルト思フノデアリマスケレドモ、此ノ方法ヲ甲ノ場合、乙ノ場合ニ於テ個々ノ事情ヲ參酌スルト云フコトハ、實際問題トシテ實ニ困難デアルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○福田(悌)委員　今ノ建設費以內ノ協定ノ場合ニ、收益ト建設費ト二ツ合ハセテ二デ割ルト云フコトガ長イ認メラレタ慣例ダト仰シヤルノデアリマスガ、是ハ二デ割ル、詰リ二分ノ一ト云フコトダケガ、唯一ツノ方法デアリマスカ、ソレトモ場合ニ依ツテハ三分ノ二トカ云フヤウナコトガアリ得ルノデアリマスカ

○大山(秀)政府委員　益金還元ノ額ト建設費ト同ジ重サニ見テ居ツテ、二分ノ一ニ致シテ居リマス、或ルモノヲ二ト見、或ルモノヲ三ト見ルト云フ方法ハ今マデヤツテ居リマセヌ

○福田(悌)委員　新潟臨港鐵道ノ買收ヲナサル範圍ハ、全部ナノデアリマスカ、臨港驛ト云フノガアリマスガ、アレカラ埠頭ニ掛ケテ、澤山竝行線ガアルノデスガ、アノ全部ヲ買收ナサルノデアリマスカ

○大山(秀)政府委員　鐵道ノ建設地ニ入ツテ居リマスモノヲ全部買收スル譯デアリマシテ、其ノ意味合カラ申上ゲマスト、圖面ニ赤デ書イテアリマス線路全部ガ買收サレル譯デアリマス

○福田(悌)委員　埠頭ニ於ケル荷役ハ、此ノ會社トシテハ今マデ自分ノ船カラ自分ノ鐵道ヘ運ンデ居ツタノデアリマスガ、將來此ノ荷役ヲ他人ニヤラセルト云フコトニナリマスト、會社トシテハ謂ハバ既得權ヲ侵サレルヤウナ立場ニナルノデアリマスガ、其ノ邊ハ從來ノ通リ此ノ會社ニヤラスヤウナ御方針デアリマスカ

○大山(秀)政府委員　今荷役ハ此ノ臨港鐵道會社ノ姉妹會社ノヤウナ別ノ會社デヤツテ居ルノデアリマスガ、此ノ買收ニ依リマシテ、作業ノ實體ナドニ變更ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、十分仕事ガ續ケラレルト云フヤウナコトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、併シナガラ新潟港ハ御承知ノヤウニ、現ニ縣ノ埠頭ト此ノ會社ノ埠頭ト二ツアリマシテ、兩港ノ統一問題、或ハ水陸作業ノ色々ナ問題ト云フヤウナコトニ付テ、地方ニ於テモ、又港灣關係ノ方ニ於テモ、色々ノ御研究ガアルヤウデアリマス、先程カラ度々話モアリマシタヤウニ、吾々ノ方面ト致シマシテ、遞信省ト常ニ連絡ヲ取ツテ、色々ナコトヲ研究致シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ大キナ計畫ガアリ、ソレガ是非トモ必要デアルト云フヤウナ場合ニ至リマシタナラバ、會社ノ方面ニ於キマシテモ十分ナル協力ヲ得タイモノダト、斯ウ云フ風ニ吾々ハ希望シテ居リマス、ソレダケ附加ヘテ置キマス

○福田(悌)委員　最後ニ一點ダケ大臣ニ御伺ヒ致シマス、東京、下關間ノ新幹線ハ今年度カラ着手ニナリマシテ、十五年度ノ繼續事業デアリマスガ、是ハ非常ニ重要ナル國策デアリマスカラ、一日モ早ク其ノ完成ヲ吾々國民トシテハ熱望致スノデゴザイマスガ、何トカシテ此ノ工事ヲ進捗シ、完成年度ヲ繰上ゲルコトニ付テ、大臣ノ御熱意、御抱負ヲ此ノ際伺ヒタイト思ヒマス

○小川國務大臣　仰セノ通リニ此ノ新幹線ハ十五年ト云フ繼續費デ出來テ居リマス、本年度ハ六百万圓デシタカ、十六年度ハ二千五百万圓デ、其ノ次ハ五千万圓トカ六千万圓トカ云フ相當ナ巨額ヲ支出シテ行クコトニナツテ居リマス譯デアリマスカラ、斯ウ云フ時勢デアリマシテモ、豫定ノ額ヲ動カシマセヌデ、二千五百万圓ヲ昭和十六年度ニ計上シテ居ル譯デアリマシテ、ソレカラ十七年、十八年ト云フヤウニ、相當巨額ノモノガ出ル譯デアリマス、十六年、十七年、十八年ト云フ所ハ、何ト言ヒマシテモ資材ガ凡ユル方面デ御承知ノ通リサウ思フニ任セナイ事情ニアルヤウニ思ヒマス、サウ云フ時ニハ、資材ニ餘リ關係ノ深カラザルモノヲ以テヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ十九年カラ先ニ資材ガ相當都合好ク廻ルヤウニナリマ

スレバ――サウ云フコトヲ吾々ハ期待シテ居リマスガ、段々歩ヲ進メテ行ケルコトモ可能デヤナイカト思ヒマス、今日ニ於テソレヲ直グ短縮スルト云フコトハハツキリ申上ゲラレマセヌ、併シ私ノ氣持ハ成タケ是ハ短縮シテヤリタイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、隨テ土工ナラ土工ハ成タケ廣イ範圍ニ於テヤレルコトヲヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、年限ノ問題デ、十五年ノモノヲ何年ニヤルト云フコトハ、ハツキリ申上ゲラレマセヌケレドモ、大東亞ノ共榮圈ヲ確立スルト云フ非常ニ重大ナル使命ガ今日出來テ來マシタカラ、ソレニ應ズルヤウニシタイ、斯ウ云フ熱望ヲ持ツテ居リマス次第デアリマス

○福田(悌)委員　宜シウゴザイマス

○星島委員長　ソレデハ是デ本委員會ニ付託セラレマシタ四件ニ關スル質疑ハ全部終了致シマシタ、ソコデ是ヨリ留萌鐵道株式會社及新潟臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案、富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案、及ビ大正九年法律第五十六號中改正法律案、即チ北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件、之ヲ一括議題トシテ、討議ニ附シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○星島委員長　御異議ナシト認メマス、ソレデハ討論ハ普通通告ニ依ツテヤルノデアリマスガ、ドウ計ラヒマセウカ

〔「理事ノ方ニ任セマス」ト呼ブ者アリ〕

○鹽川委員　只今本委員會ニ付託ニナツテ居リマス留萌鐵道外三鐵道ノ買收案竝ニ田名部鐵道ニ對スル補償、此ノ案ニ付キマシテ意見ヲ申上ゲマス、先日來政府當局ノ詳細ナル說明ヲ伺ヒマシテ、是等ノ鐵道ハ最モ時局ニ必要ナ鐵道デアリマシテ、殊ニ運輸ノ能率ヲ增加シ、以テ生產擴充ニ資スル、斯ウ云フヤウナ點ニ重要ナル使命ヲ持ツテ居ル鐵道デアリマスカラ、當局ノ御說明ニ依リマシテ十分其ノ點ヲ了承致シマシタ、本案ノ買收ニ贊成ヲ致スモノデアリマス

尙ホ一ツ希望ヲ申上ゲテ置キマス、是等ノ鐵道ノ中デ殊ニ交通ノ頻繁デアリ、又相當長距離ニ亙ル所ノ鐵道ノ一例ヲ申上ゲマスレバ、富士身延ノ如キハ只今差當ツテ如何ニモ混雜ヲシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、先刻大臣ノ御說明ニモアリマシタ通リ、資材ト云ヒ勞力ト云ヒ、殊ニ是ハ限ラレテ居ル譯デアリマシテ、隨テ是等ノ鐵道ノ根本的改良ヲナスト云フコトハ一朝一夕ニハ到底出來ヌノデアリマス、唯與ヘラレタ材料、與ヘラレタ勞力ノ範圍內ニ於テ、差當ツテ幾分ニテモ混雜ヲ緩和スルコトニ事務當局トシテハ一般ノ御工夫アランコトヲ御願ヒ致シマス、私ハ此ノ希望ヲ申上ゲマシテ贊成致ス次第デアリマス

○手代木委員　私ハ大正九年法律第五十六號中改正法律案ニ對シテ、贊成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、北海道ノ拓殖促進ノ爲ニ必要ナル所ノ地方鐵道及軌道ニ對スル補助ハ、永年繼續セラレテ來テ居ルノデアリマスガ、御承知ノ如クマダ北海道ノ開拓ガ其ノ完成ヲ見マセヌ爲ニ、隨テ此ノ各私設鐵道軌道ノ營業成績ナルモノガ甚ダ振ヒマセヌ、中ニハ既ニ所謂獨立經營ノ域ニ達シマシテ、國家ノ補助ニ依ラナイモノモ二、三アルノデアリマスガ、大多數ハ今申上ゲマスル通リ、未ダ獨立經營ガ困難ナノデアリマス、而シテ北海道ノ拓殖上鐵道軌道ノ必要ナルコトハ言フマデモナイノデアリマシテ、若シ是ガ助成ニ缺ケルコトガアリマスルト、隨テ運賃等モ增率ニナリマシテ、驅テハ是ガ拓殖ノ促進ヲ阻碍スル結果ニナルノデアリマシテ、ドウシテモ此ノ獨立ノ域ニ達スルマデハ助成ヲ繼續スル必要ガアルト思フノデアリマス、既ニ二十年ヲ經過シテ居ル鐵道ノ大多數ガ左樣ナ狀態ニアルノデアリマスカラ、之ヲ今回更ニ五年間延長シテ此ノ助成ヲ繼續スルト云フヤウナコトハ、拓殖上殉ニ必要ナコトデアルト思フノデアリマス、臺灣、朝鮮ニ於テモ此ノ私設鐵道ニ對シテ助成ヲ致シテ居リマスルガ、ソレ等ノモノト北海道ノ私設鐵道軌道ヘノ助成ヲ比較致シマスト、遙カニ是ハ臺灣、朝鮮ナドヨリハ劣ツテ居ルノデアリマス、營業ノ色々ノ條件ガ一層惡イ上ニ、尙ホ助成ガ劣ツテ居ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、是ハ臺灣、朝鮮ノ鐵道ノ助成ト從來相竝ンデ來テ居ル關係ノモノデアリマスカラ、ソレ等ノ點カラ見マシテモ、當然是ハ延長セラルベキモノデアルト考ヘテ居ツタノデアリマス、ソレガ今度政府ニ依ツテ提案セラレタノデアリマシテ、殉ニ私共トシテ北海道ノ爲ニ――結構ナ次第デアルト思ツテ居ル譯デアリマスノデ、此ノ法案ニ對シテハ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマスガ、今モ申シマシタ通リ獨立經營ノ困難ナル間ハ、今後ニ於テモヤハリ此ノ助成ヲ繼續スルヤウナコトヲ考慮スベキモノデアラウト思フノデアリマス、鐵道省ガ先年私設鐵道ニ對シテ此ノ營業開始ノ日ヨリノ年限ニ依ラナイデ、假令營業開始後長キニ亙ルモノト雖モ、其ノ經營ノ困難ナルモノニ對シテハ、ヤハリ今日尙ホ助成ヲシテ居ラレルヤウデアリマスガ、恐ラクソレ等ノコトモヤハリ今申上ゲタ意味ヲ含ンデ居ルモノト思ハレルノデアリマシテ、拓殖鐵道ニ對スル助成ガ、今回ハ二十年ヲ二十五年ニ延長スル譯デアリマスカラ、五年間ハ助成ヲ受ケテ從來通リヤツテ行ケル譯デアリ、而シテ又此ノ五年間ニ相當ノ成績ヲ擧ゲルヤウナ鐵道モ出テ來ルコトデアラウト思フノデアリマス、兎モ角モ今日ノ場合ニ於テハ、最モ重要ナル生產擴充ノ中ノ一ツノ任務ヲ果シテ居ル鐵道デモアリマシ、又今後ニ於テ、詰リ二十五年後ニ於テモ同ジヤウナ任務ヲ是ハ擔當スルモノデアリマスカラ、是ハ先ノコトデアリマスケレドモ、ヤハリサウ云フ心持デ此ノ鐵道ノ助成ノコトヲ考ヘテ置イテオ貰ヒシタイト思フノデアリマス、全ク今日ノ北海道ノ補助法ハ利益配當ヲ助成シテ居ルノデハナクシテ、所謂損失ノ補塡ヲシテ居ルノデアリマス、前ニ申シタ朝鮮、臺灣ノ方ハ損失補塡デハナクシテ利益配當ノ助成ヲ今日ヤツテ居ル、サウ云フヤウニ北海道ノ私設鐵道軌道ト、外地ノ鐵道トノ間ニハ懸隔ガアルノデアリマス、即チ二十年ヲ經過シタモノニ對シテハ、玆ニ但書ニ依ツテ此ノ期限ノ滿了シタモノハ、滿了ノ日カラ本法律ヲ適用セラレルト云フヤウナコトヲ御定メニナツテアリマスコトハ、所謂遡及法ヲ認メラレタコトデアツテ是亦殉ニ結構ナコトデアルト思フノデアリマス、玆ニ本案ニ對シマシテ滿腔ノ贊意ヲ表スル次第デアリマス

○星島委員長　討論ノ通告ハ他ニハゴザイ

マセヌ、仍テ討論ハ終了致シマシタ、ソレデハ本委員會ニ付託セラレマシタ四件ヲ一括議題ト致シマシテ採決シタイト思ヒマス、念ノ爲ニモウ一度讀ミマス、留萌鐵道株式會社及新潟臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案、富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案及ビ大正九年法律第五十六號中改正法律案、卽チ北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件、之ヲ一括議題トシテ採決致シマス、各案共ニ原案贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○**星島委員長**　起立總員、之ヲ以テ各案共原案通リ可決致シマシタ、是ニテ本委員會ハ終了致シマシタ

政府竝ニ委員諸君ノ御熱心ナル審議ヲ感謝致シマス、之ヲ以テ本日ハ散會致シマス

午後一時二十一分散會

昭和十六年二月三日印刷　昭和十六年二月四日發行　衆議院事務局　印刷者　內閣印刷局